Canon

CDI-J028

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot A40
PowerShot A30

カメラユーザーガイド



CANON iMAGE GATEWAY

- 最初にp. 5の「ご使用の前に」をお読みください。
- すぐにカメラをお使いになりたいときは、p. 12の「クイックスタート」をお読みください。撮影、再生、消去の操作方法を簡単に説明しています。
- ソフトウェアのインストールと画像の取り込み方法については、ソフトウェアクィックガイドをお読みください。
- 各プリンターに同梱されているプリンターユーザーガイドもお読みください。

Exif Print

DPOF

DIRECT PRINT

このカメラでできること

撮影しましょう

- シャッターを押すだけで、簡単に撮影できます。
- シャッター速度や絞り数値を自分で選んで、撮影できます。
- セピア色や白黒の画像を撮影できます。
- 動画を撮影できます。

液晶モニターで画像を見たり、消したりしましょう

- 撮影したあと、すぐに画像を確認できます。
- 9画像ずつ再生できるので、見たい画像をすぐに探せます。
- 最大10画像まで拡大して再生できます。
- 撮影した画像を、1画像ずつ、または一括して消去できます。

撮影した画像を活用しましょう

- カメラとプリンターをケーブルで接続して、すぐにプリントできます。
- コンピューターに画像を取り込んで、編集できます。
- 撮影した画像を、インターネット上にアップロードして、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムをお友達やご家族にも公開できます。

さらに進んだ撮影をしましょう

- ワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズを使って、広角撮影、望遠撮影、マクロ撮影ができます。
- ウォータープルーフケースを使えば、水深30mまでの水中撮影ができます。

ガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。目的に合わせてお使いください。

カメラユーザーガイド（本書）

- 撮影、再生、消去の操作方法
- コンピューターとの接続方法
- カメラダイレクト対応プリンターとの接続方法とプリント方法

システムマップ

- 周辺機器との接続
- 同梱品・別売品の紹介

ソフトウェアクイックガイド

- 同梱のCD-ROMに収められている各ソフトウェアの主な機能
- コンピューターに必要なシステム構成
- ソフトウェアのインストール方法
- カメラで撮影した画像をコンピューターに取り込む方法

ZoomBrowser EXソフトウェアガイド（Windows）/ ImageBrowserソフトウェアガイド（Macintosh）

- ZoomBrowser EX（Windows）の詳細な使いかた
- ImageBrowser（Macintosh）の詳細な使いかた

カードフォトプリンターCP-10/CP-100 プリンタードライバユーザーガイド（Windows/Macintosh）

- プリンタードライバのインストール方法
- コンピューターとの接続方法とプリント方法

プリンターユーザーガイド（別売のプリンターに同梱）

- カメラとプリンターの接続方法
- ペーパーやインクカセットの入れかた
- プリンターやペーパー、インクカセットの取り扱い上のご注意

このガイドについて

表記について

見出しの横にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。この例では、モードダイヤルがAUTO、P、M、□のときに、操作できます。

ストロボを使って撮る AUTO P M □

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利になること、参考になることを記載しています。

こんなときには

■メニュー操作のしかたがわからない：

メニューの選択と設定のしかた → p. 41

■撮影モードごとに設定できる機能がよくわからない：

■電源を切ると、設定の変更が保持されるのかわからない：

各撮影モードで設定できる機能一覧 → p. 80

■プリントのしかたがわからない：

プリントについて → p. 94

■利用できる機能にどんなものがあるかわからない：

撮影メニュー → p. 124

再生メニュー → p. 129

上記の各ページは、見つけやすいように他のページとは異なるデザイン（ページの右側に網かけ）になっています。

見出しについて

カメラの準備から撮影、再生までの操作の流れを一覧できるよう、簡潔に説明しています。まずは使ってみたいときには、こちらをご覧ください。

クイックスタート

カメラ各部の名称や使い始めるための準備、電源の入れ方、シャッターボタンの押し方などについて説明しています。

準備・基本操作

撮影モードの選択からカメラまかせの撮影手順、目的に合わせた撮影手順など各種の撮影について説明しています。

撮　影

撮影した画像の再生や再生方法の設定、画像のプロテクト、画像の消去について説明しています。

再生・消去

撮影した画像をプリントする方法やプリント設定、メールで送信する画像の選択などについて説明しています。

プリント・送信

テレビを使って撮影/再生する手順、コンピューターへの画像の取り込み、Canon Image Gatewayについて説明しています。

接　続

撮影メニューや再生メニューの一覧、メッセージ一覧を掲載するほか、コイン電池の交換、電源キットの使い方、レンズの使い方などについて説明しています。

付　録

目次

は、このカメラの機能や操作をまとめてあります。また、これらのページは、見つけやすいように他のページとは異なるデザイン（ページの右側に網かけ）になっています。

ご使用の前に

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやCFカードなどの不具合により、画像の記録やコンピューターへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

本体温度について

このカメラは、長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがあります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本文中の「本機器」とは、カメラ、電池、バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターを指します。

警告	この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
注意	この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

○記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたい事柄を示します。記号の中の図は指示内容を意味します。（左図：電源プラグを抜く）

⚠ 警　告

- **カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**視力障害の原因となります。
- **ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。**目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

●**本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。**お子様が誤って本機器や電池を破損すると危険です。また、誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。



●**カメラに使用しているコイン電池は、特に幼児の手の届かないところに置いてください。**万一、幼児が電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



●**本機器を分解、改造しないでください。**高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



●**落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



●**煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



●**本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



● **本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。**カメラには防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。
万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

● **お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。**火災の原因となります。

● **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。**ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

● **電源コードに重いものを乗せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。**漏電して、火災、感電の原因になります。

● **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の原因になります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などでコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

● **本機器専用以外の電源は使用しないでください。**発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

● **電池を火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。**また、水の中に入れたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因になります。

●**電池を分解、改造したり、加熱しないでください。**破裂により、けがの原因となります。万一、電池の電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。

●**電池を落とすなどして強い衝撃を与えないでください。**外装が破損した場合、電池の液漏れにより、けがの原因になります。

●**キーホルダーなどの金属類で電池の「＋」と「－」の端子を接触（ショート）させないでください。**発熱し、やけど、けがの原因となります。

●**電池を廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。**廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。

●**指定された電池を使用してください。**それ以外のものを使用すると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

●**キヤノン製の単3形ニッケル水素電池およびバッテリーチャージャーをお使いください。**それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

●**バッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。**長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●**コンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。**他の製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

●**別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズ、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。**緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。また、太陽などの強い光源を絶対に覗かないでください。失明する恐れがあります。

⚠ 注　意

●**直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。**電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となったり、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。

●**湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。**火災、感電、故障の原因になることがあります。

●**カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。**けがや本体の故障の原因となることがあります。

●**ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。**また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因になることがあります。

故障を防ぐためのご注意

■電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

■結露を防ぐために

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。
カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

■結露が発生したときは

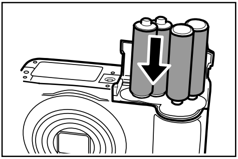
故障の原因になりますので、カメラをお使いにならないでください。
CFカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラをお使いください。

■長期間使用しないときは

電池をカメラやバッテリーチャージャーから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で、故障することがあります。

クイックスタート

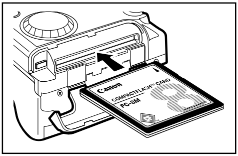
1 電池を入れます → p. 18



バッテリーカバー開放スイッチをスライドしてバッテリーカバーを開き、電池を入れます。

- 電池の取り扱いについて → p. 19

2 CFカードを入れます → p. 22



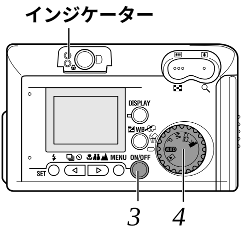
CFカードスロットカバーを開き、CFカードを差し込みます。

3 メインスイッチを押して電源を入れます → p. 29

ファインダー横のインジケーターが緑色に点滅し始めるまで、メインスイッチを押し続けます。

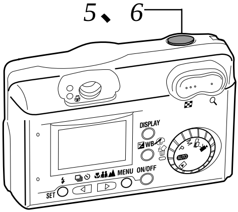
- 日付/時刻の設定メニューが表示されたとき → p. 24
- メニューの表示言語を変更するとき → p. 26

4 モードダイヤルを AUTO (オート)に合わせます → p. 46



5 ピントを合わせます ➔ p. 38

写したいもの(被写体)にカメラを向け、シャッターボタンを軽く押します。ピントが合うと電子音が2回鳴ります。



6 撮影します ➔ p. 38

さらにシャッターボタンを深く押します。撮影が終了すると電子音が1回だけ鳴ります。

7 撮影した画像を見ます

撮影した画像が約2秒間表示されます。➔ p. 48
今までに撮影した画像を確認したいときは、「再生」(p. 82)をご覧ください。

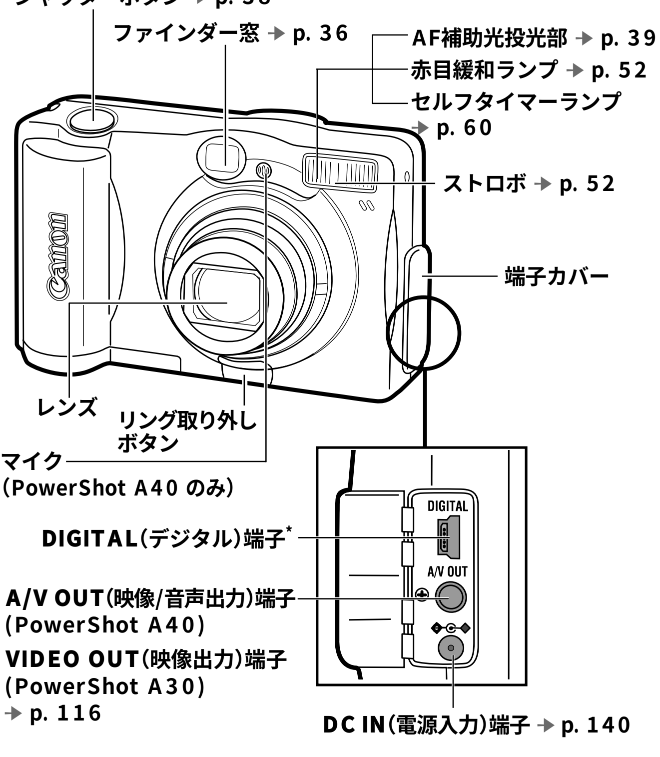


表示画像をすぐに消去する

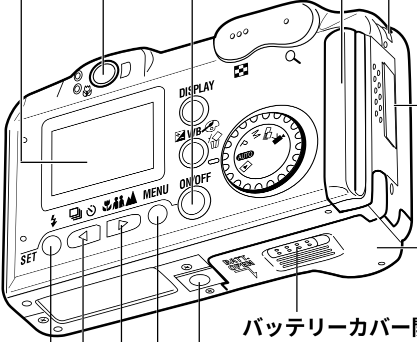
1 画像の表示中に、🗑ボタンを押します
2 [消去]が選択されていることを確認し、**SET**ボタンを押します



各部の名称



* コンピューターと接続するときは、同梱のUSBケーブルを接続し、プリンターと接続するときは、プリンターに同梱のダイレクトインターフェースケーブル DIF-100を接続してください。
→ p. 98, 120
(このカメラで使えるプリンターについては、システムマップでご確認ください。)



液晶モニター → p. 31

ファインダー接眼部 → p. 36

メインスイッチ（ON/OFF） → p. 29

CFカードスロットカバー → p. 22

ストラップ取り付け部 → p. 28

コイン電池ホルダー → p. 136

バッテリーカバー → p. 18

バッテリーカバー開放スイッチ → p. 18

三脚ねじ穴

MENU（メニュー）ボタン → p. 41

（マクロ）/（スナップ）/▲（遠景）/▷/AFボタン → p. 55

（連写）/（セルフタイマー）/◁ボタン → p. 59, 60

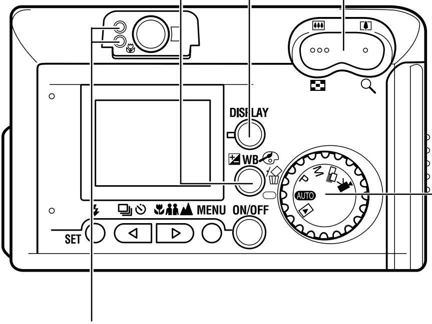
⚡（ストロボ）/SET（セット）ボタン → p. 52

(露出)/WB(ホワイトバランス)/(色効果)/(1画像消去)ボタン → p. 73, 74, 76, 90

DISPLAY(ディスプレイ)ボタン → p. 31

ズームボタン → p. 40, 57, 83, 84

モードダイヤル → p. 17



インジケーター

メインスイッチまたはシャッターボタンを押したとき、インジケーターが点灯、点滅します。

上側のインジケーター

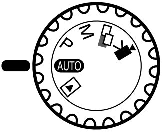
緑点灯： 撮影準備完了/通信準備完了(PC接続時)
緑点滅： カメラ起動中/CFカードへ記録中/CFカードからの読み出し中/CFカードからの消去中/データ転送中(PC接続時)
橙点灯： 撮影準備完了(ストロボ発光)
橙点滅： 撮影準備完了(手ぶれ警告)

下側のインジケーター

黄点灯： マクロ/スナップ/遠景撮影時
黄点滅： ピントが合いにくいとき(黄点滅でもシャッターは押せますが、フォーカスロックでピントを合わせて撮影してください。→ p. 69)

モードダイヤル

モードダイヤルは、撮影や再生の機能を選ぶときに使います。



AUTO（オートモード）

ほとんどの設定をカメラまかせで撮影できます。
→ p. 46

P（プログラムモード）

露出、ホワイトバランスなどを自分で選んで撮影できます。→ p. 66

M（マニュアルモード）

シャッター速度と絞り数値を自分で決定し、撮影できます。→ p. 67

（スティッチアシストモード）

パノラマ合成用の画像を撮影できます。→ p. 61

（動画モード）

動画を撮影できます。→ p. 64

（再生モード）

- CFカードに記録されている画像を再生したり消去できます。
  → p. 82, 90
- コンピューターと接続すると、撮影した画像の表示や取り込みができます。→ p. 118
- プリンター と接続すると、撮影した画像をプリントできます。
  → p. 98

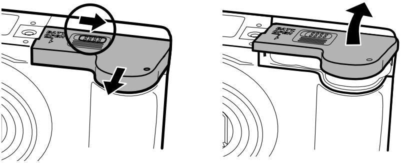
準備

電池を入れる

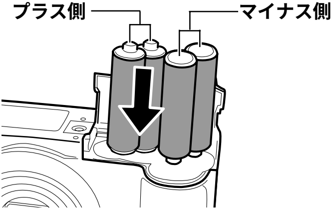
同梱の単3形アルカリ電池、または別売のニッケル水素電池を4本入れてください。

1 電源が切れていることを確認します

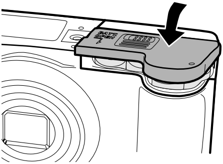
2 バッテリーカバー開放スイッチを矢印の方向にスライドさせ、バッテリーカバーを開きます



3 電池を図のようにセットします



4 バッテリーカバーを閉じます



- **インジケーターが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、カメラの電源を切ったり、バッテリーカバーを開けないでください。**

- 長時間お使いになる場合は、別売の家庭用電源(ACアダプターキット ACK600)をご使用ください。→ p. 140
- 別売のバッテリー/チャージャーキットをお使いになると、単3形ニッケル水素電池を使用することもできます。→ p. 138
- 電池性能について → p. 155
- お使いになれるバッテリー/チャージャーキット、単3形ニッケル水素電池については、システムマップ(別紙)をご覧ください。

電池の取り扱いについて

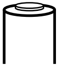
- このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、単3形ニッケル水素電池です。単3形ニッケル水素電池は、キヤノン製のものをお使いください。単3形ニッケル水素電池の取り扱いについては、「充電式バッテリーを使う(p. 138)」をご覧ください。
- マンガン電池やリチウム電池は発熱の恐れがありますのでお使いになれません。
- アルカリ電池は、銘柄により容量や特性に差があるため、付属のアルカリ電池に比べ、電池の使用可能時間が短い場合があります。
- アルカリ電池は、低温下では使用可能時間が短くなります。またアルカリ電池の特性上、ニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノンの単3形ニッケル水素電池(4本セット)をお使いになることをおすすめします。
- 単3形ニカド電池はお使いになれますが、性能のばらつきがあるためおすすめできません。

- **新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。**
- **メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。**
- 電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていると、記録画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。
- 低温下では電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります(特にアルカリ電池の場合)。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。この際、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。電池がショートする恐れがあります。
- 長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

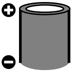
⚠ 警告

外装シールが(一部または全体に関りなく)剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

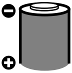
以下のような形状の電池はご使用になれません。



外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池(裸電池)



プラス電極が平らである電池



マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

電池残量について

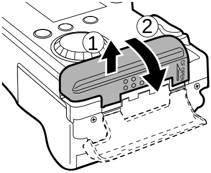
電池残量が低下すると、以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

	電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、新しい電池を使用するか、早めに充電してください。 液晶モニターが消えているときは、⚡、❏/◷、✿/👥/▲、**DISPLAY**、☒WB、**MENU**ボタンのいずれかを押すと、表示されます。
バッテリーを交換してください	電池の残量が少なく、動作不能です。直ちに電池を交換してください。

CFカードを入れる

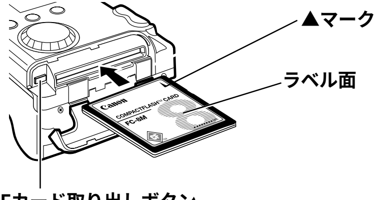
1 **電源が切れていることを確認します**

2 **CFカードスロットカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます**

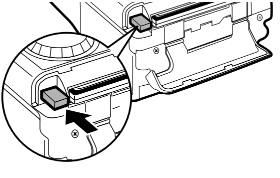


3 **CFカードのラベル面を手前にして差し込みます**

- CFカード取り出しボタンが飛び出すまで、しっかりと奥まで差し込みます。



- CFカードを取り出すときは、CFカード取り出しボタンを押します。



4 CFカードスロットカバーをしっかりと閉じます

- **ファインダー横のインジケーターが緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、絶対に次のことは行わないでください。画像データが壊れることがあります。**
  - **カメラ本体に振動や衝撃を与える。**
  - **カメラの電源を切ったり、CFカードスロットカバーを開ける。**
- **他社のカメラ、または他のアプリケーションソフトウェアで編集したCFカードを使用すると、誤動作する恐れがありますのでご注意ください。**

- CFカードの種類と記録画像数の目安について → p. 156

CFカードについて

- CFカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- CFカードを分解したり、改造しないでください。
- 温度差の大きな場所へ急に移動すると、CFカードに水滴が付き（結露）、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密閉しておき、周囲の温度に十分慣らしてからお使いください。
  結露したときは、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。
- CFカードは、下記の場所で使用したり、保管しないでください。

  ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  高温多湿の場所

日付/時刻を設定する

はじめてカメラの電源を入れたとき、または、コイン電池の残量が低下したときは、日付/時刻の設定画面が表示されます。コイン電池を交換後、手順6から操作してください。

1 メインスイッチを押して、電源を入れます

→ p. 29

2 モードダイヤルをAUTO、P、M、□または□に合わせます

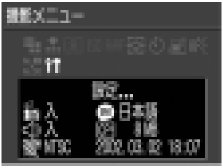
3 MENUボタンを押します

撮影メニューが表示されます。



画面例：
PowerShot A40

4 ◁/▷ボタンで□を選び、SETボタンを押します



5 ◁/▷ボタンでを選び、SETボタンを押します

6 日付と時刻を設定します

- ◁/▷ボタンを押すと日付や時刻の数字が増減します。
- **SET**ボタンを押すと、次の項目に移動します。
- 日付スタイルを設定後、**SET**ボタンを押すと設定内容が確定します。



7 MENUボタンを押します

言語を設定する

液晶モニターのメニューやメッセージの表示言語を設定します。

1 モードダイヤルをAUTO、P、M、□または🎥に合わせます

2 MENUボタンを押します

撮影メニューが表示されます。



画面例：
PowerShot A40

3 ◁/▷ボタンで🔧を選び、SETボタンを押します



4 ◁/▷ボタンで⊜を選び、SETボタンを押します



5 言語を設定します

- ◁/▷ボタンを押すとメニューの言語が変更されます。



6 SETボタンを押します

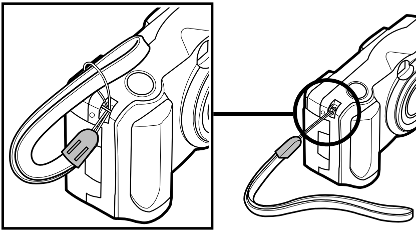
- **SET**ボタンを押さずに、**MENU**ボタンを押すと、言語の設定を変更せずに設定メニューに戻ります。

7 MENUボタンを押します

かんたん操作

- モードダイヤルが▶(再生)のとき、**SET**ボタンを押しながら**MENU**ボタンを押すと、言語設定画面をすぐに表示できます。

ストラップを取り付ける



- カメラをストラップで下げているときは、振り回すような持ち方を避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

基本操作

電源を入れる

1 緑色のインジケーターが点滅するまで、メインスイッチを押します

AUTO、P、M、□、🎥モードのとき

液晶モニターに撮影情報が約6秒間表示されます。

- モードダイヤルを▶に切り換え、約1分経過するとレンズは収納されます。

▶モードのとき

液晶モニターに撮影した画像が表示されます。

節電機能

カメラには節電機能が付いています。節電機能が[入]のとき、節電機能が働いて電源が切れたときは、再度メインスイッチを押します。

撮影時：約3分間、何も操作しないと電源が切れます。節電機能を[切]にしている場合でも、液晶モニターをつけて、約3分間何も操作をしないと、液晶モニターは消えます。このとき、メインスイッチ以外のいずれかのボタンを押すと、再び液晶モニターがつきます。

再生時：約5分間、何も操作しないと電源が切れます。

プリンター接続時：約5分間、カメラの操作を何もせず、またプリンターで何もプリントしないと、電源が切れます。

コンピューター接続時：約5分間、何も操作しないとコンピューター画面に警告メッセージが表示されます。さらに1分間、何も操作しないとカメラの電源が切れます。

- オートプレイで自動再生中は、節電機能は働きません。
➜ p. 88
- 節電機能が働かないよう、カメラの設定を変更できます。
➜ p. 127

液晶モニターの使い方

画像を確認しながら撮影するときや、メニュー操作、画像を再生するときは、液晶モニターを使います。

- **太陽や強い光があたると液晶モニターの表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。**

AUTO、P、Mモードのとき

- **DISPLAYボタンを押すたびに、次のように切り換わります。**

液晶モニター表示（情報表示なし） → 液晶モニター表示（情報表示あり） → 液晶モニター非表示 → 液晶モニター表示（情報表示なし）

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、カメラの電源を切っても記憶され、次回電源を入れたとき、直前の状態で使用できます。ただし、液晶モニターをつけて撮影しているとき、「バッテリーを交換してください。」というメッセージが表示された場合は、次回電源を入れたときに、液晶モニターがつかないことがあります。
- 液晶モニター表示（情報表示なし）や、液晶モニター非表示でも、次の操作を行うと、情報が約6秒間表示されます。
  - 電源を入れたとき
  - ⚡、⧉/◷、✿/👥/▲ボタンのいずれかを押したとき
  - カメラの設定を変更したとき
  - 設定メニューを終了したとき
- ⊏⊐、🎥モードにしたときは、設定に関わらず、液晶モニターが表示されます。

- **撮影準備完了時に、上側のインジケーターが橙色に点滅し、液晶モニターに手ぶれ警告アイコン( )が表示された場合は、ストロボをオンにするか、三脚などでカメラを固定して操作してください。**

▶モードのとき

- **モードダイヤルを▶にすると、液晶モニターがつきます。**
- **DISPLAYボタンを押すごとに、情報表示の切り換えができます。**

シングル再生時（1画像再生）

簡易表示 → 詳細表示 → 非表示 → 簡易表示

インデックス再生時（9画像再生）

簡易表示 ↔ 非表示

液晶モニターに表示される情報

撮影や再生時、カメラの設定状態や撮影可能画像数、撮影日時などが表示されます。

AUTO、P、M、□、🎥モードのとき

情報表示のときは、次の情報を表示します。



AUTO P M □ 🎥	撮影モード	p. 17
−2・・・±0・・・+2	露出補正	p. 73
AWB ☀ ☁ 💡	ホワイトバランス	p. 74
V N LS S BW	色効果	p. 76
S	圧縮率	p. 50
L M S 320 160	記録画素数	p. 50
ISO 50 100 200 400	ISO感度	p. 77
AFL	フォーカスロック	p. 69
⚡A ◉ ⚡	ストロボ	p. 52
□	撮影方法	p. 59/60
🌷 👥 ▲	マクロ/スナップ/遠景モード	p. 55
●（赤）	動画撮影	p. 64
(PowerShot A40) ×3.8 ×4.7 ×6.0 ×7.5 (PowerShot A30) ×3.8 ×4.8 ×6.0	デジタルズーム倍率*	p. 57
	手ぶれ警告	p. 32
	バッテリー残量低下	p. 21

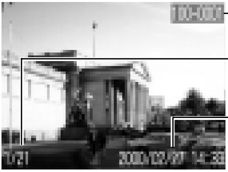
準備・基本操作

● 　　のアイコンは、情報表示なしのときも表示されます。
● これら以外に図のように、AF枠、スポット測光枠(Pモード時)、シャッター速度・絞り数値(Mモード時)、記録可能画像数または動画記録可能時間が表示されます。

＊ 光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率です。デジタルズーム時に表示されます。

▶モードのとき

簡易表示では、次の情報を表示します。



ファイル番号

画像番号(再生画像番号/総画像数)

撮影日時

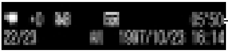
	圧縮率	p. 50
L M S	記録画素数（静止画）	p. 50
♪	WAVE形式の音声メモ	p. 65
AVI	動画	p. 85
	プロテクト情報	p. 89

詳細表示では、さらに次の情報を表示します。



シャッター速度

絞り数値



動画記録時間

	撮影モード	p. 17
-2 ··· ±0 ··· +2	露出補正	p. 73
	ホワイトバランス	p. 74
	色効果	p. 76
ISO 50 100 200 400	ISO感度	p. 77
	ストロボ	p. 52
	マクロ/スナップ/遠景モード	p. 55
	測光方式	p. 72
320 160	記録画素数(動画)	p. 50

- これら以外に図のように、シャッター速度、絞り数値、動画記録時間が表示されます。

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

	WAVEファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルが付いています。
	DCFの規格に対応していないJPEGファイルです。
RAW	RAW形式のファイルです。
?	認識できない画像データです。

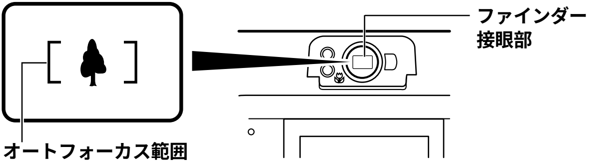
- このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、あるいは他のカメラで撮影した画像を、このカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

ファインダーを使って撮る

ファインダーを使って撮影すると、消費電力を抑えることができます。

1 写したいもの(被写体)に中央の枠(オートフォーカス範囲)を合わせて撮影します

- このファインダーの視野率は約80%です。



オートフォーカスについて

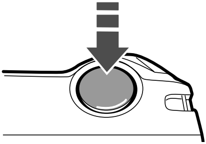
- このカメラのオートフォーカス機能は、AiAF*を採用しています。
  AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピント合わせを的確に判断します。ピントを合わせたい被写体が中央部から多少はずれている場合でも、目的の被写体にピントを合わせます。
  *** Ai＝Artificial intelligence：人工知能**
  AF＝オートフォーカス

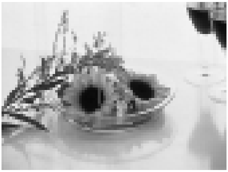
ファインダーで見える範囲と撮影範囲との違いについて

- ファインダーを使って撮影する場合は、ファインダーの特性上、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレ（パララックス）が生じます。特に、被写体の距離が近い場合には、パララックスが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影することをおすすめします。

シャッターボタンの押し方

シャッターボタンは、半押しと全押しの2段階で動作します。





半押し …… 浅く押したとき

露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。

インジケーターで設定状態がわかります。

上側のインジケーター

- 緑点灯：撮影準備完了
  （電子音が2回鳴ります。）
- 橙点灯：ストロボ発光
- 橙点滅：手ブレ警告/露出不足

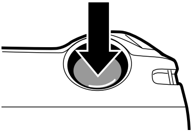
下側のインジケーター

- 黄点灯：マクロ/スナップ/遠景撮影
- 黄点滅：ピントが合いにくいとき*
  （電子音が1回鳴ります。）

*** 黄点滅したときは、フォーカスロックを使って撮影してください。** **→ p.69**

AF枠は、次のようになります。（液晶モニターがついているとき）

- 緑色：撮影準備完了
- 黄色：ピントが合いにくいとき（AiAFが[切]のとき → p. 71）



全押し …… 深く押したとき

撮影します。

- **撮影が終了するとシャッター音が鳴ります。シャッター音が鳴るまでカメラを動かさないでください。**
- **CFカードに記録中はインジケーターが緑色に点滅します。**

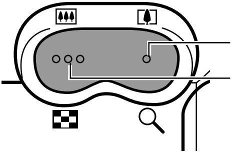
AF補助光について

- 暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたとき、ピントを合わせやすくするために、AF補助光投光部が光ることがあります。
- AF補助光を切ることもできます。→ p. 126
  例えば暗い場所で動物を撮るときなど、AF補助光で動物を驚かせて逃がすことなく撮影できます。
  （ただし、AF補助光を切ると、ピントが合いにくくなることがあります。）

ズーム(画角)を調節する

35mmフィルム換算で、35〜105mmの範囲で画角を調節できます。

望遠/広角



[望遠]ボタン：被写体を大きく写します(望遠)

[広角]ボタン：被写体を小さく写します(広角)

デジタルズーム

液晶モニターがついているときは、光学ズームと合わせてPowerShot A40では最大7.5倍に、PowerShot A30では最大6倍に拡大して撮影できます。 **→ p. 57**

- デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。

- **モードによって、デジタルズームが使えないことがあります。** **→ p. 80**

メニューの選択と設定のしかた

撮影時や再生時の設定などは、メニューを使って操作します。メニューを使った操作は、下図のように行います。
メニュー項目や設定内容については、「メニュー設定項目と初期設定（p. 44）」をご覧ください。

1 MENUボタンを押します

メニューが表示されます。



AUTO、P、M、□、🎥 モードのとき



▶モードのとき

2 ◁/▷ボタンでメニュー項目を選び、SETボタンを押します

- ここでは、撮影メニューの選択と設定のしかたを説明します。▶モードのときは、メニュー項目によってメニューの選択と設定のしかたが変わります（p. 42, 96）。

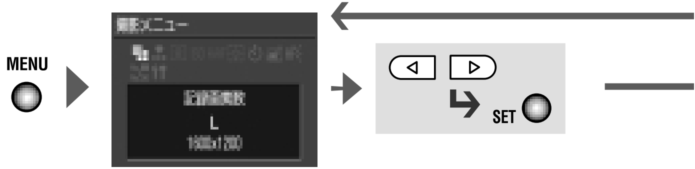
3 ◁/▷ ボタンで設定したい内容を選び、SETボタンを押します



4 MENUボタンを押します

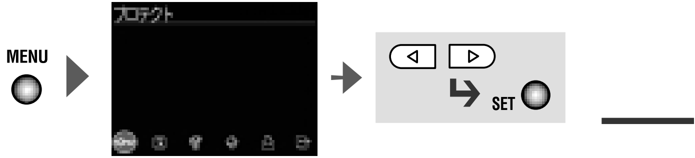
メニューの選択と設定のしかた（つづき）

撮影メニューの場合（AUTO、P、M、□、🎥モードのとき）



※各モードによって選べる項目は異なります。

再生メニューの場合（▶モードのとき）



※🖨[プリント指定]の操作については、「プリントメニューの選択と設定のしかた」(p. 96)をご覧ください。

MENU ：メニューの表示／非表示を切り換えます。

◁ ▷ ：項目、設定内容を選びます。

SET ：項目、設定内容を確定します。

◁ ▷

SET

MENU

（設定終了）

（プロテクト）、（回転）を選んだとき

◁ ▷

SET

MENU

（設定終了）

（全消去）、（送信指定）を選んだとき

◁ ▷

SET

（消去）または
（送信指定）

（オートプレイ）を選んだとき

（オートプレイ開始）

メニュー設定項目と初期設定

各メニューで設定できる項目と初期設定は、次の通りです。

メニュー項目			設定内容	参照先
撮影メニュー	記録画素数（静止画）	PowerShot A40	L 1600 × 1200* M 1024 × 768 S 640 × 480	p. 50
		PowerShot A30	L 1280 × 960* M 1024 × 768 S 640 × 480	p. 50
	記録画素数（動画）		320×240* / 160×120	p. 50
	圧縮率		スーパーファイン / ファイン* / ノーマル	p. 50
	測光方式		評価測光*/スポット測光	p. 72
	ISO感度		50 / 100 / 200 / 400 / AUTO	p. 77
	AiAF		入* / 切	p. 71
	デジタルズーム		入 / 切*	p. 57
	セルフタイマー		10秒*/ 2秒	p. 60
	撮影の確認		切 / 2秒* / 10秒	p. 48
	AF補助光		入* / 切	p. 126
	番号リセット		入 / 切*	p. 78
	設定	節電機能	入* / 切	p. 127
		日付設定	日付/時刻を設定します。	p. 24
		ビデオ方式	NTSC* / PAL	p. 128
		電子音	入* / 切	p. 126
		CFの初期化	CFカードを初期化します。	p. 92
		言語	English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 日本語*	p. 26

メニュー項目		設定内容	参照先
再生メニュー	プロテクト	プロテクトを設定します。	p. 89
	回転	回転して表示します。	p. 87
	全画像消去	すべての画像を消去します。	p. 91
	オートプレイ	自動再生します。	p. 88
	プリント指定	プリント指定をします。	p. 94
	送信指定	送信指定をします。	p.114

*** 初期設定**

- **撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。**
- **[ISO感度]の初期設定は、撮影モードによって異なります。**
- **[日付設定]、[ビデオ方式]、[言語]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度ですべて初期設定に戻すことができます。**
  → p. 131

撮影 - カメラまかせの簡単撮影

AUTO オートで撮る

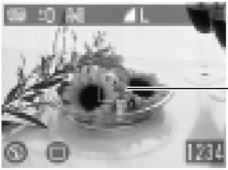
シャッターボタン以外の操作をする必要がなく、カメラまかせの撮影ができます。

1 被写体にカメラを向けます

2 ズームボタンで画角（画面内の被写体の大きさ）を決めます

3 シャッターボタンを半押しします → p. 38

- シャッターボタンを押してピントを合わせます。撮影準備が完了すると、電子音が2回鳴り、インジケーターが緑色または橙色に点灯します。液晶モニターがついているときは、AF枠が緑色になります。
- ピントが合いにくいときは、電子音が1回鳴りインジケーターが黄色に点滅します。



4 シャッターボタンを全押しします → p. 38

電子音が1回鳴り、撮影が完了します。

- 液晶モニターがついている場合、撮影した画像が約2秒表示されます。

● このモードで変更できる設定 ➔ p. 80
● 撮影後、液晶モニターに撮影画像を表示する時間を変更したり、表示しないように設定できます。 ➔ p. 48

撮影直後に画像を確認する AUTO P M

撮影直後、シャッターボタンを離しても約2秒間(変更できます → p. 48)、撮影した画像を表示しますが、次の方法で確認することもできます。

- **シャッターボタンを全押しし続ける**
- **撮影した画像が表示されている間にSETボタンを押す**

- シャッターボタンを半押しにすると解除されます。

- 画像確認中に次のようなことができます。参照先をご覧ください。
  - 画像を消去する → p. 90

撮影した画像の確認時間を変更する

画像の確認時間を[2秒]から[切]または[10秒]に変更できます。

1. **撮影メニューから (撮影の確認)を選び、SETボタンを押します**

- メニューの選択と設定のしかた → p. 41

2 ◁/▷ボタンで確認時間を選び、SETボタンを押します



- [切]の場合、画像は表示されません。
- [2秒]または[10秒]の場合、シャッターボタンを離しても、2秒または10秒間、画像を表示します。
- シャッターボタンを全押しし続けると、設定に関わらず画像を表示できます。
- 画像の表示中でも撮影はできます。

3 MENUボタンを押します

記録画素数と圧縮率を変更する [AUTO] [P] [M] [スティッチアシスト] [動画]

目的に応じて、記録画素数、圧縮率（動画を除く）を変更できます。
記録画素数は、S（スモール）→M（ミドル）→L（ラージ）の順に大きくなります。大きくプリントしたい場合は、大きな画素数を選ぶことをおすすめします。
また小さなシールにプリントする場合や、電子メールで送ったり、より多くの画像を撮影したいときなどは、小さな画素数を選ぶことをおすすめします。
画質は、[ノーマル]（ノーマル）→[ファイン]（ファイン）→[スーパーファイン]（スーパーファイン）の順に高画質になります。よりよい画質で撮影したい場合は[スーパーファイン]（スーパーファイン）を、より多くの画像を撮影したい場合は[ノーマル]（ノーマル）をおすすめします。通常は[ファイン]（ファイン）で十分な画質が得られます。

記録画素数（[動画]以外）

	PowerShot A40	PowerShot A30
[L]（ラージ）	1600×1200画素	1280×960画素
[M]（ミドル）	1024× 768画素	1024×768画素
[S]（スモール）	640× 480画素	640×480画素

記録画素数（[動画]）

[320]	320×240画素
[160]	160×120画素

・ **PowerShot A40/A30共通です。**

圧縮率（[動画]以外）

[スーパーファイン]	スーパーファイン
[ファイン]	ファイン
[ノーマル]	ノーマル

1 撮影メニューから（記録画素数）または（圧縮率）を選び、SETボタンを押します

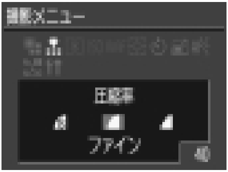
- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 41

2 ◁/▷ボタンで設定を選び、SETボタンを押します

記録画素数



圧縮率



画面例：PowerShot A40

3 MENUボタンを押します

- 各モードで変更できる設定 ➔ p. 80
- 1画像の容量（目安）、CFカードの種類別、記録可能画像数について ➔ p. 156

ストロボを使って撮る AUTO P M

	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。
	赤目緩和オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光して撮影します。ストロボ発光の際には、常に赤目緩和ランプを発光します。
	オン	常にストロボを発光して撮影します。
	オフ	撮影時にストロボは発光しません。
	赤目緩和オン	常に赤目緩和ランプとストロボを発光して撮影します。
	スローシンクロ	遅いシャッター速度で、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。常に赤目緩和ランプを発光します。 三脚をお使いになることをおすすめします。

1 撮影したいストロボモードになるまで、ボタンを押します

	AUTO	P	M		
	○	○	–	–	–
	○*	○*	–	–	–
	–	○	○	△	–
	○	○	○*	△*	○*
	–	–	○	–	–
	–	○	–	△	–

* 初期設定

○:設定可　△:最初の1画像のみ設定可　–:設定不可

2 撮影します

● インジケーターが橙色に点灯するときは、ストロボが発光します。

撮影

● ISO感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど、白飛びしやすくなります。
● ストロボがオフおよびスローシンクロのとき、暗いところではシャッター速度が遅くなり、画像がぶれることがありますのでご注意ください。
- AUTOで撮影するとき
手ぶれしないように、カメラをしっかり持って撮影してください。
- P(ISO AUTO設定時)、□で撮影するとき
AUTOでの撮影よりも、シャッター速度が遅くなるので、必ず三脚をお使いください。AUTOで撮影した画像が暗い場合、Pで撮影すると、より明るい画像が得られます。

- ストロボの充電に約10秒かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池の残量によって変わります。
- **M**のときは、フル発光します(マクロモード時は、フル発光ではなく、一定量に抑えて発光します)。**M**以外のときは、自動調光で発光します。
- ストロボの発光は2回行われ、プリ発光し、続いてメイン発光します。プリ発光(ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光)で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光(ストロボ撮影を行うための発光)に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。

赤目緩和機能について

- 暗い所でストロボを発光すると、ストロボの光が反射して目が赤く写ることがあります。このようなときは、赤目緩和オート*で撮影してください。
その場合、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。また、「レンズを広角側にする」、「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」とより効果があります。

* 赤目緩和ランプが発光するときは、効果を高めるために、シャッターボタンを全押ししても、約1秒間は撮影できません。すぐに撮影したいときはストロボの設定をオート、オン、オフのいずれかにして撮影してください。

🌷 至近距離/👥 中距離/▲ 遠距離で撮る

AUTO P M ⧉ 🎥

🌷	至近距離（マクロ）	レンズ前面から被写体までの距離が、16cm（テレ端では26cm）〜76cmのときに使います。
👥	中距離（スナップ）	被写体との距離が約1.5〜2.5mのときに使います。
▲	遠距離（遠景）	風景を撮影するときに使います。近いものと遠いものが混在していて、遠いものを撮影したいときにも使います。

1 🌷/👥/▲ボタンを（何回か）押して🌷、👥または▲を表示させます

	AUTO	P	M	⧉	🎥
🌷	○	○	○	△	○
👥	–	○	○	△	○
▲	–	○	○	△	○

○：設定可　–：設定不可　△：最初の1画像のみ設定可

2 撮影します

- **マクロモードでは、必ず液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーをお使いになると撮影範囲がずれます。**
- **マクロモードで撮影距離が16～26cmのときにストロボをお使いになると、適切な画像の明るさにならない場合があります。**

- 被写体に最も近づいたときの撮影範囲は、ワイド端で約162×120 mm、テレ端では約92×69 mmとなります。

デジタルズームで撮る AUTO P M

液晶モニターがついているときは、光学ズームと組み合わせて、次の倍率(目安)に拡大できます。

PowerShot A40：3.8倍、4.7倍、6.0倍、7.5倍
PowerShot A30：3.8倍、4.8倍、6.0倍

1 撮影メニューから(デジタルズーム)を選び、SETボタンを押します

- メニューの選択と設定のしかた → p. 41

2 ◁/▷ボタンで[入]を選び、SETボタンを押します



3 MENUボタンを押します

4 [T]ボタンを押します

- 最も望遠側(テレ端)まで拡大すると、いったん停止します。再度、[T]ボタンを押すと、さらに拡大できます。
- [W]ボタンを押すと、倍率が下がります。

5 撮影します



光学ズームとデジタルズームを
組み合わせた倍率を表示

- モードによって、デジタルズームが使えないことがあります。 ➔ p. 80
- デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。

連続して撮る P M

シャッターボタンを押している間、約2.5画像/秒、（ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示）*の速さで連続撮影します。

*** 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。**

1 /ボタンを（何回か）押して、を表示させます

2 撮影します

- 画像を一時的に保存するための内部メモリーがいっぱいになると撮影間隔が多少長くなることがあります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

セルフタイマーを使って撮る AUTO P M

1 **/ボタンを（何回か）押して、を表示させます**

2 **撮影します**

- シャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、セルフタイマーランプが点滅します。

セルフタイマーの時間を変更する

1 **撮影メニューから（セルフタイマー）を選び、SETボタンを押します**

- メニューの選択と設定のしかた → p. 41

2 **/ボタンで[（10秒）]または[（2秒）]を選び、SETボタンを押します**

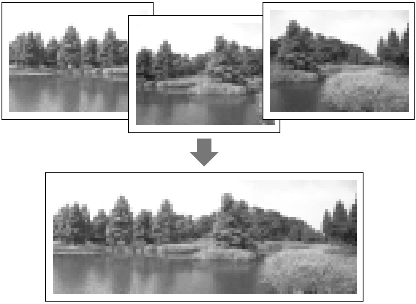


- [（10秒）]を選んだときは、撮影2秒前になるとセルフ音が鳴り、点滅が早くなります。
- [（2秒）]を選んだときは、シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が鳴って、2秒後に撮影されます。

3 **MENUボタンを押します**

スティッチアシストで撮る

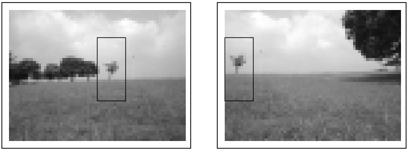
スティッチアシストモードで撮影すると、撮影した画像をコンピューターで合成し、パノラマ画像を作成できます。



● コンピューターでの画像合成には、同梱の「PhotoStitch」をお使いください。

被写体のとらえ方

PhotoStitchは、隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分には、できるだけ特徴のある被写体(目印となる被写体)を入れて撮影してください。

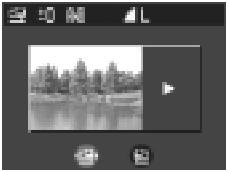


撮影

- 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の30〜50%になるように撮影してください。また、上下のズレは、画像の高さの10%以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体が入らないように注意してください。
- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。ゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけ揃えてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。
- 至近距離では、カメラをスライド（カメラを被写体に対して平行移動）させます。

撮影する

1 ◁/▷ボタンで撮影方向を選び、SETボタンを押します



:左から右方向へ水平に撮影

:右から左方向へ水平に撮影

- **SET**ボタンの代わりに、シャッターボタンを押して撮影することもできます。

2 最初の画像を撮影します

3 最初の画像に重なる(オーバーラップ)ようにして、次の画像を撮影します

- オーバーラップは、多少ずれても合成時に修正されます。
- ◁/▷ボタンを押すと撮影済みの画像に戻り、撮影し直すことができます。

4 同様の操作で3画像目以降を撮影します

- 最大26画像まで撮影できます。

5 撮影が終了したらSETボタンを押します

- **このモードで変更できる設定** **→ p. 80**
- **2画像目の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。**
- **テレビと接続しても、液晶モニターの画像をテレビに表示して撮影できません。**

動画を撮る

記録画素数は、撮影メニューの[記録画素数]で[320(320×240(初期設定))]または[160(160×120)]を選べます。
→ p. 50

1 シャッターボタンを全押しします

撮影が開始されます。PowerShot A40では、同時に音声も記録されます。

- 撮影中は、液晶モニターに撮影秒数と赤丸が表示されます。

2 撮影を終了するときは、再度シャッターボタンを全押しします

- 1回の撮影時間(約20フレーム/秒)は、320で約10秒*、160で約30秒*です。これらの時間が経過するか、またはCFカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

  * 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

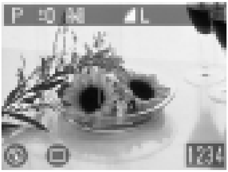
- **撮影中は、マイクに触れないようにしてください(PowerShot A40 のみ)。**
- **露出、フォーカス、ホワイトバランス、ズーム(画角)は、撮影を開始したとき(最初のフレーム)の設定値に固定されます。**
- **撮影後、CFカードに記録しているときはインジケーターが緑色に点滅します。このときは撮影できません。**
- **このモードで変更できる設定** **→ p. 80**

- 音声は、モノラルで録音されます(PowerShot A40のみ)。
- 動画撮影時は、シャッター音は鳴りません。
- 動画ファイル(ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG)をコンピューターで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です。（同梱のDigital Camera Solution Diskには、QuickTime 5.0が収められています。）

プログラムAEで撮る P

被写体の明るさに応じて、カメラのシャッター速度と絞り数値を自動設定します。露出補正や、ホワイトバランスなどを自分で選んで撮影できます。

1 撮影します



- **シャッター速度が遅くなると、CCDの特性により撮影した画像にノイズが増えますが、このカメラはシャッター速度が1.3秒より遅くなると、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます。**
（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります。）

PとAUTOの違い

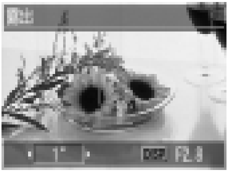
- PとAUTOは、自動的に決まるシャッター速度と絞り数値の組み合わせは同じです。
- Pでは、次の機能を使用できますが、AUTOではできません。
  - ・露出補正　・ホワイトバランス
  - ・ストロボ（赤目緩和オン/オン/スローシンクロ）
  - ・連続撮影　・スナップ/遠景　・色効果
  - ・ISO感度　・測光方式の変更
  - ・フォーカスロック　・AF枠の変更（中央固定）

自由にシャッター速度/絞り数値を決めて撮る M

シャッター速度や絞り数値を自分で決定し、狙い通りの撮影ができます。花火の撮影など露出の設定が難しいときに使うと便利です。

1 ±/WBボタンを1回押します

露出メニューが表示されます。



2 ◁/▷ボタンでシャッター速度を選びます

3 DISPLAYボタンで絞り数値を選びます

4 撮影します

撮影

● **ノイズリダクション処理について** → p. 66

シャッター速度

1/160は1/160秒を表します。また、0"3は0.3秒を、2"は2秒を表しています。

1/1500　1/1250　1/1000　1/800　1/640　1/500
1/400　1/320　1/250　1/200　1/160　1/125　1/100
1/80　1/60　1/50　1/40　1/30　1/25　1/20　1/15
1/13　1/10　1/8　1/6　1/5　1/4
0"3　0"4　0"5　0"6　0"8　1"　1"3　1"6　2"　2"5　3"2
4"　5"　6"　8"　10"　13"　15"

絞り数値

- F2.8〜14の間の2種類から選べます。
- 選べる絞り数値は、ズームによって異なります。液晶モニターに表示される絞り数値で確認してください。

フォーカスロックで撮る　P M

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。フォーカスロックで撮影してください。

- コントラストが極端に低い被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
  できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロック撮影・方法1

1 **ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体を、ファインダー中央、または液晶モニターに表示されているAF枠に収めます**

2 **シャッターボタンを半押しし、電子音が2回鳴った後、カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しします**

フォーカスロック撮影・方法2

1 DISPLAYボタンを押して、液晶モニターをつけます

2 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体を、AF枠の中に収めます

3 シャッターボタンを半押しし、電子音が2回鳴った後、🌷/👥/▲ボタンを押します

液晶モニターにAFLが表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影します

フォーカスロックの解除

- フォーカスロックをやめるときは、🌷/👥/▲ボタン、**DISPLAY**ボタン、ズームボタンのいずれかを押します。
- モードダイヤルを切り換えても、フォーカスロックが解除できます。

- 方法2は、シャッターボタンを離して構図を決められます。また、撮影後もフォーカスがロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。

オートフォーカス方式を切り換える P M

オートフォーカス枠（AF枠）の選択方式を変更して撮影できます。液晶モニターをつけているときは、AF枠が表示されます。 ➔ p. 38

□ □ □	**入（オート選択）**	撮影状況に応じてカメラが自動的にAF枠を選択してピントを合わせます。
□ □ □	**切（中央選択）**	3つのAF枠のうち、中央のAF枠でピントを合わせます。狙った被写体に確実にピントを合わせるのに便利です。

□ は、液晶モニター上に表示される枠です。

撮影

1 撮影メニューから AiAF（AiAF）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた ➔ p. 41

2 [入]または[切]を選びます



3 MENUボタンを押します

- **MENU**ボタンの代わりに、シャッターボタンを押して、設定したAF枠で撮影することもできます。

測光方式を切り換える　P

測光方式を切り換えて撮影できます。

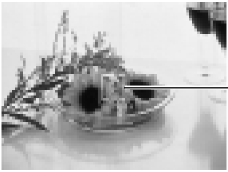
	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。被写体の位置、明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出にします。
	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

1　撮影メニューから（測光方式）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた → p. 41

2　[評価測光]または[スポット測光]を選びます

- [スポット測光]のときは、液晶モニター中央にスポット測光枠が表示されます。



画面例：スポット測光

3　MENUボタンを押します

露出を補正する

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまうようなときなどに露出を調整します。

1 /WBボタンを1回押します



2 補正量を調整します

- 補正量は、－2～＋2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
- 液晶モニターがついているときは､液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画像が表示され、設定を変更できます。

3 SETボタンを押します

- 露出補正を解除するには、補正量を0に戻します

撮影

WB ホワイトバランスを設定する P M

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定すると、その光源に合った適正な色に調整できます。自然光や照明光で撮影するとき、撮影条件に応じてホワイトバランスを設定します。

AWB	オート	カメラが撮影状況に合わせて、自動的にホワイトバランスを調整します。
	太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択します。
	くもり	曇天や日陰、薄暮などで撮影するときに選択します。
	電球	電球、電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。

1 /WBボタンを（何回か）押します



2 ホワイトバランスを選びます

- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画像が表示され、設定を変更できます。

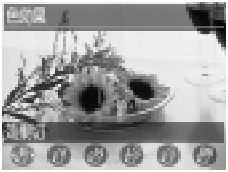
3 SETボタンを押します

● 色効果で[Ⓢ(セピア)][Ⓑ(白黒)]を選んだときは、ホワイトバランスは設定できません。

色効果を切り換える　P M

OFF	切	通常は、この設定で撮影します。
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いで撮影します。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いで撮影します。
LS	ソフト	画像の輪郭を抑えて撮影します。
S	セピア	セピア色で撮影します。
BW	白黒	白黒で撮影します。

1 ボタンを（何回か）押します



2 色効果を選びます

- 液晶モニターがついているときは、液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画像が表示され、設定を変更できます。

3 SETボタンを押します

ISO感度を変更する P M

暗いところでの撮影や、シャッター速度を速くしたいときに切り換えます。

1 撮影メニューから ISO （ISO感度）を選びます

● メニューの選択と設定のしかた ➜ p. 41

2 感度を選びます



3 MENUボタンを押します

● ISO感度[AUTO]は、Pモード時のみ選択できます。

● ISO感度を上げると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。
● ISO感度[AUTO]は、ISO 50〜150の間で自動設定されます。

ファイル番号をリセットする

ファイル番号の設定方法を選びます。

入	新しいCFカードを入れるたびにファイル番号が初期値（100-0001）に戻ります。記録済みのCFカードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後のファイル番号が記憶され、新しいCFカードを入れても続きのファイル番号になります。

1 撮影メニューから（番号リセット機能）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた → p. 41

2 [入]または[切]を選びます



3 MENUボタンを押します

- 番号リセット機能を[切]にすると、ファイル番号が重複しないため、コンピューターでまとめて管理するような場合に便利です。

ファイル番号について

- 撮影した画像には、0001～9900までのファイル番号が割り振られ、ひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。各フォルダには、100～998までの番号が割り振られます。（下2桁が99のフォルダは作られません。）
- やで撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に101画像以上保存されることがあります。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は以下のとおりです。
各撮影モードで設定した内容は、撮影モードを変更しても保持されます。

機能			AUTOオート	Pプログラム
記録画素数	ラージ	L	○*	○*
	ミドル	M	○	○
	スモール	S	○	○
	動画	320	—	—
	動画	160	—	—
圧縮率	スーパーファイン	S	○	○
	ファイン		○*	○*
	ノーマル		○	○
ストロボ	オート	A	○	○
	赤目緩和オート		○*	○*
	オン		—	○
	オフ		○	○
	赤目緩和オン		—	—
	スローシンクロ		—	○
マクロ撮影			○	○
スナップ撮影			—	○
遠景撮影			—	○
フォーカスロック		AFL	—	○
撮影方法	シングル撮影		○*	○*
	連続撮影		—	○
	セルフタイマー		○	○
オートフォーカス枠の選択			—	○
AF補助光			○	○
測光方式	評価測光		○	○*
	スポット測光		—	○
デジタルズーム			○	○
露出補正			—	○
ホワイトバランス			—	○
色効果			—	○
ISO感度			—(1)	○

*** 初期設定　○:設定可　△:最初の1画像のみ設定可　−:設定不可**
□:電源を切っても解除されません。
(1)ISO 50〜150相当で自動設定　(2)[AUTO]は設定できません。

Mマニュアル	スティッチアシスト	動画	参照ページ
○*	△*	−	p. 50
○	△	−	
○	△	−	
−	−	○*	
−	−	○	
○	△	−	p. 50
○*	△*	−	
○	△	−	
−	−	−	p. 52
−	−	−	
○	△	−	
○*	△*	○	
○	−	−	
−	△	−	
○	△	○	p. 55
○	△	○	
○	△	○	
○	−	−	p. 69
○*	△*	○*	p. 59
○	−	−	
○	△	○	p. 60
○	−	−	p. 71
○	○	○	p. 126
−	○	○	p. 72
−	−	−	
○	−	−	p. 57
−	△	○	p. 73
○	△	○	p. 74
○	△	○	p. 76
○(2)	−(1)	−(1)	p. 77

撮影

再生

1画像ずつ見る ▶

撮影した画像を液晶モニターに表示します（シングル再生）。

1 モードダイヤルを▶に合わせます

最後に撮影した画像が表示されます。



2 ◁/▷ボタンで表示する画像を切り換えます

- ◁/▷ボタンを押し続けると、画像が連続して表示されます。

🔍 拡大して見る

1 シングル再生中に🔍ボタンを押します

画像が最大約10倍まで連続して表示されます。



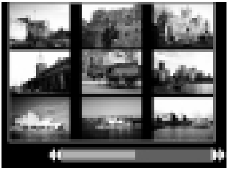
表示位置の
目安

- SETボタンを押しながら🔍ボタンを押すと、画像が約2.5倍→約5倍→約10倍の順に拡大表示されます。
- 拡大表示中に、◁/▷ボタンを押すと左右方向、SETボタンを押しながら◁/▷ボタンを押すと上下方向に、表示位置を変更できます。
- ボタンを押すと、拡大表示が解除されます。

9画像ずつまとめて見る

一度に9画像ずつ、液晶モニターに表示します（インデックス再生）。また、9画像単位で表示の切り換えができるので、見たい画像をすばやく探したいときに便利です。

1 ボタンを2回押します



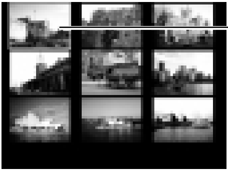
9画像ずつ表示されます。

2 ◁/▷ボタンで画像を切り換えます

前後の9画像が表示されます。

- **SET**ボタンを押しながら◁/▷ボタンを押すと、最初または最後の9画像を表示します。

3 大きく表示したい画像があったら、ボタンを押します



4 ◁/▷ボタンで画像を選び、ボタンを押します

シングル再生になります。

- **SET**ボタンを押しながら◁/▷ボタンを押すと、最初または最後の画像を表示します。

動画を見る

1 ◁/▷ボタンで🎥（動画）で撮影した画像を表示します

- SET ▶/⏸が表示されている画像が動画です。



2 SETボタンを押します

動画が再生されます。

- 再生を終了すると、最後のフレームを表示したままで停止します。その状態で、再び**SET**ボタンを押すと、最初のフレームから再生されます。

再生の一時停止/再開

- **SET**ボタンを押すと再生を一時停止します。
  再度**SET**ボタンを押すと、再生を再開します。

画像送り/戻し

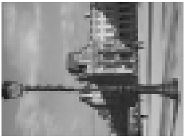
- ◁/▷ボタンを押すと、再生を中断し、前または次の画像を表示します。

- **コンピューターで動画を再生するとき、コンピューターの性能によっては、画像がコマ落ちしたり、音声が途切れることがあります。**

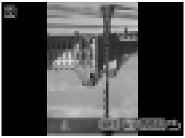
- テレビで動画を再生するときは、音声も再生できます。音量は、テレビで調節してください。（PowerShot A40のみ）→ p. 116

回転して表示する

時計方向に90度、270度に回転して表示します。


0度（元の画像）


90度


270度

1 再生メニューから（回転）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた → p. 41

2 ◁ / ▷ ボタンで回転したい画像を選び、SETボタンを押します

- **SET**ボタンを押すたびに、90度→270度→元の画像を表示します。

3 MENUボタンを押します

- **動画は回転表示できません。**
- **カメラで回転した画像をコンピューターに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。**

画像を自動再生する

CFカード内のすべての画像を自動で再生します（オートプレイ）。再生間隔は、約3秒です。

1 再生メニューから（オートプレイ）を選びます

● メニューの選択と設定のしかた → p. 41

オートプレイが開始されます。

● オートプレイ中も、シングル再生中と同様に◁/▷ボタンで画像を送ることができます。

オートプレイの一時停止/再開

● オートプレイ中に**SET**ボタンを押すと、オートプレイが停止されます。もう一度**SET**ボタンを押すと、オートプレイが再開されます。

オートプレイの終了

● オートプレイの停止中に、**MENU**ボタンを押すと、オートプレイが終了します。

● 画像によっては、再生間隔が異なることがあります。

● 動画は記録した時間で再生されます。

● オートプレイ中は、節電機能は働きません。→ p. 30

画像をプロテクトする

大切な画像を誤って消去しないようプロテクトすることができます。

1 再生メニューから🔑(プロテクト)を選びます

- メニューの選択と設定のしかた ➜ p. 41

2 ◁/▷ボタンでプロテクトしたい画像を選び、SETボタンを押します



プロテクトマーク

- プロテクトを設定した画像には、🔑が表示されます。
- プロテクトを設定した画像で**SET**ボタンを押すと、プロテクトを解除します。
- ▦ボタンでシングル再生とインデックス再生を切り換えても指定できます。

3 MENUボタンを押します

- **CFカードを初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。ご注意ください。➜ p. 92**

消去

- **消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。**
- **プロテクトされている画像は消去できません。** **→ p. 89**

1画像ずつ消去する

1 **◁/▷ボタンで消去したい画像を選び、消去ボタンを押します**



2 **◁/▷ボタンで[消去]を選び、SETボタンを押します**

- 消去を取り消すときは、[キャンセル]を選び、**SET**ボタンを押します。

全画像を消去する

1 **再生メニューから（全消去）を選び、SETボタンを押します**

確認画面が表示されます。



2 **◁/▷ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します**

- 消去を取り消すときは、[キャンセル]を選び、**SET**ボタンを押します。

再生・消去

CFカードを初期化する AUTO P M

新しいCFカードをお使いになるときは、次の方法で初期化します。

- **初期化すると、CFカードに記録されている画像（プロテクト設定してある場合でも）、データがすべて削除されます。ご注意ください。**

1 撮影メニューから（設定）を選び、SETボタンを押します

2 ◁/▷ボタンで（CFの初期化）を選び、SETボタンを押します



3 ◁/▷ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します



- 初期化を中止するときは、[キャンセル]を選び、**SET**ボタンを押します。

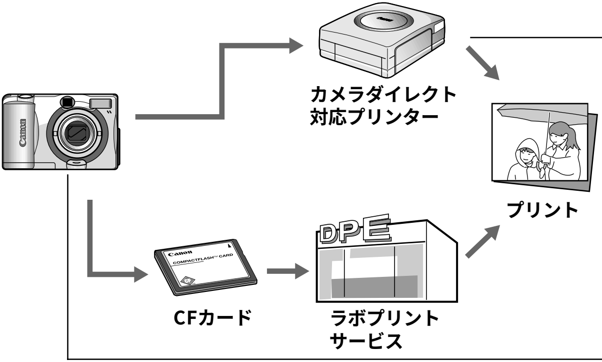
- **カメラが正しく動作しないときは、CFカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。**
- **キヤノン製以外のCFカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。**
- **他のカメラやコンピューター、周辺機器で初期化したCFカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。正しく初期化されないときは、電源を切ってから、CFカードを入れ直し、再度初期化してください。**

プリント

プリントについて

このカメラをカメラダイレクト対応プリンター(別売)とケーブルで直接つないで、CFカード内の画像をカメラのボタン操作だけで簡単にプリントできます(ダイレクトプリント)。また、あらかじめカメラでプリントする画像や枚数などを設定(DPOF*プリント設定)しておけば、CFカードをラボプリントサービスにお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントされるので、大変便利です。
このカメラでお使いになれるプリンターについては、システムマップ(別紙)をご覧ください。

*** Digital Print Order Formatの略**



ダイレクトプリント時のプリント設定

- プリント枚数を決める → p. 102

⬇

- プリントスタイルを決める → p. 102
  - スタンダード/分割画面
  - フチ　あり/なし
  - 日付　入/切

⬇

- プリント領域を選ぶ → p. 104

DPOFプリント指定

- プリントしたい画像を選ぶ → p. 106

⬇

- プリント枚数を決める → p. 106

⬇

- プリントスタイルを決める → p. 108, 109
  - スタンダード/インデックス
  - 日付　入/切
  - ファイル番号

DPOF送信指定

- メール*などで送りたい画像を決める → p. 114

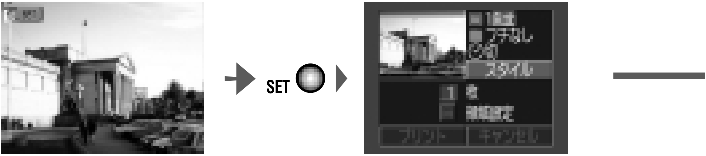
* DPOF送信指定対応のソフトウェアが必要

プリントメニューの選択と設定のしかた

プリント関連の設定は、プリントメニューを使って操作します。プリントメニューを使った操作は、下図のように行います。

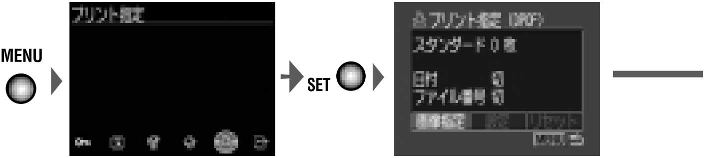
ダイレクトプリントの場合

モードダイヤルが▶の場合



DPOF設定の場合

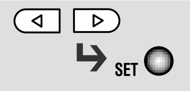
モードダイヤルが▶の場合



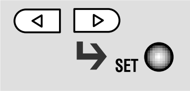
MENU：メニューの表示／非表示を切り換えます。

◁ ▷：項目、設定内容を選びます。

SET：項目、設定内容を確定します。



- スタイル
  - 画面設定 (p. 103)
  - フ　チ (p. 103)
  - 日　付 (p. 103)
- 枚　数 (p. 102)
- 領域設定 (p. 104)



- 画像指定
  - 枚　数 (p. 106)
- 設定
  - プリントタイプ (p. 109)
  - 日　付 (p. 109)
  - ファイル番号 (p. 109)
- リセット (p. 110)

プリンターを接続する

プリンターには、ダイレクトインターフェースケーブルが2本同梱されています。このカメラと接続するときは、コネクターに「⭠」マークがついているケーブル（DIF-100）をお使いください。

- **長時間連続してプリントするときは、家庭用電源（p. 140）またはフル充電された単3形ニッケル水素電池（p. 138）、未使用の単3形アルカリ電池をお使いください。**

- このカメラでお使いになれるカメラダイレクト対応プリンターは、システムマップ（別紙）をご覧ください。
- ペーパーやインクカセットの取り付け方は、プリンターユーザーガイド（プリンターに同梱）をご覧ください。

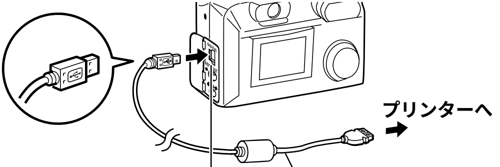
1 カメラの電源を切ります

2 プリンターに電源ケーブルを接続したあと、電源プラグをコンセントに差し込むか、プリンター用の充電バッテリーを取り付けます

- 充電式バッテリーがお使いになれるかどうかは、プリンターによって異なります。プリンターに同梱されているユーザーガイドもお読みください。

3 ダイレクトインターフェースケーブルで、プリンターとカメラを接続します

- ケーブルを差し込むときは、「⭠」マークがカメラの背面になるように差し込んでください。



4 モードダイヤルを▶に合わせ、カメラの電源を入れます



プリンターが正しく接続されていると、カメラの液晶モニターに▨が表示されます。

- **カメラのDIGITAL端子からケーブルを取り外すときは、必ずコネクターの側面を持って引いてください。**

- プリンターを接続しているときは、動画の再生はできません。
- プリンターとの接続を解除すると、液晶モニター左上の▨が消え、通常の再生モードになります。

プリントする

シングル再生またはインデックス再生中の画像をプリントします。

1 ◁/▷ボタンでプリントしたい画像を表示し、SETボタンを押します

2 必要に応じてプリント枚数、プリントスタイル、プリント領域を設定します

- プリント枚数を設定する → p. 102
- プリントスタイルを設定する → p. 102
- プリント領域を設定する → p. 104

3 [プリント]を選びます

プリントが開始され、プリントが正常に終了すると再生画面に戻ります。



- **動画はプリントできません。**

プリントを中止するとき

- プリント中に**SET**ボタンを押します。確認の画面が表示されるので、(◁)/(▷)ボタンで[OK]を選び、**SET**ボタンを押します。
- プリント中の画像のプリントは中止できません。次のプリントから中止され、再生画像に戻ります。

エラーが発生したとき

- プリント中、何らかのエラーが発生したときは、エラー画面が表示されます。→ p.135　(◁)/(▷)ボタンで[中止]または[再開]を選び、**SET**ボタンを押します。
- エラーの内容によっては、[再開]が表示されないこともあります。その場合は、[中止]を選びます。

プリントの設定をする（ダイレクトプリント時）

プリンターと接続したままでも、プリントの設定ができます。

プリント枚数を設定する

1 再生画面でSETボタンを押し、◁/▷ボタンで[枚]を選び、SETボタンを押します



2 ◁/▷ボタンで枚数を設定します

- 1～99まで指定できます。

プリントスタイルを設定する

次のスタイルを設定できます。

画面設定	1画面	ペーパー1枚に1画像をプリントします。
	分割画面*	ペーパー1枚に同一の画像を8画面プリントします。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいにプリントします。
	フチあり	フチを付けてプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。

*** カードサイズのペーパーにプリントするときのみ設定できます。**

1 再生画面でSETボタンを押し、◁/▷ボタンで[スタイル]を選び、SETボタンを押します



2 ◁/▷ボタンで[画面設定]、[フチ]、[日付]のいずれかを選び、SETボタンを押します



3 ◁/▷ボタンで設定を選び、SETボタンを押します

画面設定



[1画面]または[分割画面]を選びます。

フチ



[フチなし]または[フチあり]を選びます。

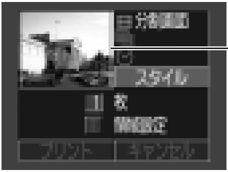
日付



[入]または[切]を選びます。

4 MENUボタンを押します

- [フチなし]や[分割画面]を選ぶと、撮影した画像の中央部が大きくプリントされます。このため、画像の上下左右がカットされます。プリントされる領域が明るく表示されるので、カットされる部分が確認できます。



プリント範囲枠

- [分割画面]の場合、日付とフチは設定されません。（日付[切]、[フチなし]でプリントされます。）
- [フチあり]を選ぶと、撮影した（液晶モニターに表示される）画像とほとんど同じ領域がプリントされます。

プリント領域を設定する

プリントする領域を、3種類の中から設定できます。

プリント領域の設定をする前に

- プリントスタイル（画面設定、フチ、日付など）を設定してください。➜ p. 102
- フチなしのときのみ設定できます。

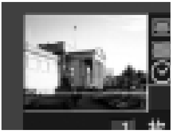
1 再生画面でSETボタンを押し、◁/▷ボタンで[領域設定]を選び、SETボタンを押します

領域設定を示すアイコンの両側に◀▶が表示されます。

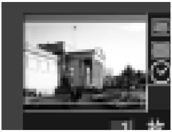


2 ◁/▷ボタンで[1][2][3]の中からプリント領域を選びます

[1]



[2]



[3]



- ペーパーのサイズがL判のとき、またはプリントスタイルの画面設定が[分割画面]のときは、選べるプリント領域が左右に動くことがあります。

● プリント領域の設定は1画像にのみ設定できます。

● プリント領域の設定は、以下の操作を行うと解除されます。

- **プリントする**
- **他の画像にプリント領域を設定する**
- **プリントモードを終了する（カメラの電源を切る、モードを変更する、プリント領域を設定したあと、プリントせずに[キャンセル]を選ぶ、ダイレクトインターフェースケーブル DIF-100を取り外す）**

DPOFのプリント指定

CFカードに記録されている画像の中から、プリントする画像や枚数をあらかじめカメラで設定できます。カメラダイレクト対応プリンターでプリントするときや、ラボプリントサービスに注文するときに大変便利です。

プリントする画像を選ぶ

1 プリント指定メニューを表示します

- プリントメニューの選択と設定のしかた → p. 96

2 [画像指定]を選び、SETボタンを押します

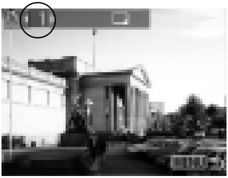


3 ◁/▷ボタンで画像を選び、SETボタンを押します

- (プリントタイプ)の設定(p. 108)により、設定方法が次のように異なります。

(スタンダード)/(両方)
枚数を示す数字の両側に◀▶が表示されます。

◁/▷ボタンで枚数を決めます。(最大で99枚まで)



(インデックス)
左上にチェックボックスが表示されます。

SETボタンを押すと、チェックマークが付き、もう一度押すと、選択が解除されます。



4 MENUボタンを押します

- **DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたCFカードの場合、⚠が表示されます。このカメラでプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。**
- **プリンターやラボプリントサービスによっては、指定内容が反映されないことがあります。**
- **動画はプリント指定できません。**

- 撮影日時の古い画像から順にプリントされます。
- 最大998画像まで設定できます。
- 手順3でズームボタンを押すと、シングル/インデックス(3画像)表示を切り換えて、画像を選べます。
- [プリントタイプ]が[両方]の場合、プリント枚数は設定できますが、[インデックス]の場合は設定できません。[インデックス]では1枚のみプリントされます。
- 同梱されているソフトウェアでもプリント指定ができます。

プリントスタイルを設定する

次の内容を設定できます。

プリントタイプ	スタンダード	ペーパー1枚に1画像をプリントします。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式でプリントします。
	両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。
ファイル番号		ファイル番号を入れてプリントします。

1 プリント指定メニューを表示します

- プリントメニューの選択と設定のしかた ➔ p. 96

2 [設定]を選び、SETボタンを押します



3 ◁/▷ボタンでプリントスタイル(、 または)を選び、SETボタンを押します

4 ◁/▷ボタンで設定を選び、SETボタンを押します



(プリントタイプ)
[スタンダード]、[インデックス]、[両方]のいずれかを選びます。



日付
[入]または[切]を選びます。



ファイル番号
[入]または[切]を選びます。

5 MENUボタンを押します

- **プリントタイプで[インデックス]を設定すると、[日付]と[ファイル番号]の両方を同時に設定できません。**
- **プリントタイプで[両方]を設定すると、カメラ上では[日付]、[ファイル番号]ともに[入]の設定ができます。ただし、この場合、[インデックス]プリントには、[ファイル番号]のみプリントされます。**

● 日付は、で設定したスタイルでプリントされます。
→ p. 24

プリントの設定をリセットする

画像のプリント指定をすべて解除し、プリントタイプを[スタンダード]、日付を[切]、ファイル番号を[切]に戻します。

1 プリント指定メニューを表示します

● プリントメニューの選択と設定のしかた → p. 96

2 [リセット]を選び、SETボタンを押します



3 [OK]を選び、SETボタンを押します

● リセットを取り消すときは、[キャンセル]を選び、**SET**ボタンを押します。

DPOFのプリント指定でプリントする

DPOFのプリント指定内容を、別売のカメラダイレクト対応プリンターでプリントできます。

1 プリント指定メニューを表示します

- プリントメニューの選択と設定のしかた ➜ p. 96

2 ◁/▷ボタンで[プリント]を選び、SETボタンを押します



3 必要に応じてプリントスタイルを設定します

- プリントスタイルを設定する ➜ p. 106
- DPOFのプリント指定で、プリントタイプに[インデックス]を選択している画像では、プリントスタイルは設定できません。

4 ◁/▷ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します

プリントが開始され、正常に終了すると再生画面に戻ります。





- 日付をプリントする場合は、手順2の[設定]で[日付]を[入]にします。手順3の[スタイル]では、[日付]の設定はできません。→ p. 108　なお、プリントタイプが[インデックス]の場合、手順2で[日付]を[入]に設定しても、日付はプリントされません。

- プリントタイプが[インデックス]の場合、ペーパー1枚にプリントされる画像数は、ペーパーによって異なります。
  - カードサイズ： 20画像
  - L判： 42画像
  - はがき： 63画像

プリントを中止するとき → **p. 101**

プリントを再開するとき

- プリント指定メニューで、◁/▷ボタンで[再開]を選び、**SET**ボタンを押します。残りの画像をプリントできます。
- 次のような場合は、プリントの再開はできません。
  - 再開する前に、プリント指定を変更した場合
  - 再開する前に、プリント指定した画像を削除した場合
  - プリントを中断したときに、CFカードの空き容量が少なかった場合

  このような場合は、プリント画面で[OK]を選択すると、1枚目から再プリントできます。

  バッテリーの容量がなくなって中断した場合は、家庭用電源またはフル充電された単3形ニッケル水素電池(p. 138)、未使用の単3形アルカリ電池に交換して、カメラの電源を入れてください。

エラーが発生したとき → **p. 101**

画像の送信設定（DPOF送信指定）

電子メールで送信する画像などを、あらかじめカメラ側で指定しておくことができます。（実際に画像を送信するときは、付属のソフトウェアをご使用ください。）
この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

- **DPOF対応の他のカメラで送信指定されたCFカードの場合、⚠が表示されます。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。**

送信する画像を選ぶ

1 再生メニューから（送信指定）を選びます

- メニューの選択と設定のしかた → p. 42

2 [画像指定]を選び、SETボタンを押します



- [リセット]を選ぶと、送信指定された画像をすべて解除します。

3 送信する画像を選びます

- ◁/▷ボタンで画像を選び、**SET**ボタンで、指定、指定解除を設定します。指定したときは、チェックマークが表示されます。
- ▦ボタンを押してインデックス再生（3画像表示）に切り替えても、同じ方法で指定できます。



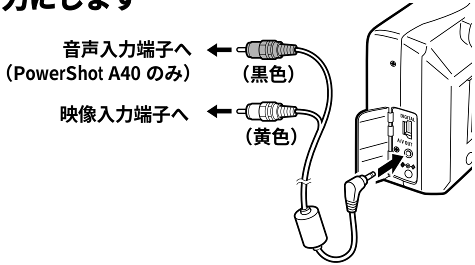
4 MENUボタンを押します

- 撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- 最大998画像まで指定できます。
- 同梱されているソフトウェアでも送信指定ができます。

テレビを使って撮影/再生する

同梱のAVケーブル AVC-DC100（PowerShot A40）またはビデオケーブル VC-100（PowerShot A30）をお使いいただくと、テレビをモニターにして撮影や再生ができます。ビデオケーブルやカメラをテレビに接続したり、取り外したりするときは、必ずカメラやテレビの電源を切ってください。

1 ビデオケーブルでカメラとテレビを接続し、テレビの電源を入れて、入力切り換えをビデオ入力にします



2 カメラの電源を入れます

- 液晶モニターに表示されていた内容がテレビに表示され、通常の撮影や再生ができるようになります。
- 撮影時、テレビに画像が表示されていないときは、**DISPLAY**ボタンを押すと表示されます。

- **テレビ表示中は、液晶モニターに画像は表示されません。**
- **□では使用できません。**
- **AVケーブルをステレオ対応のテレビに接続する場合は、音声入力端子の左右どちらかに接続してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。**

● ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用しているNTSC方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください。→ p. 128

コンピューターへの画像の取り込み

カメラで撮影した画像をコンピューターに取り込む方法は次の通りです。

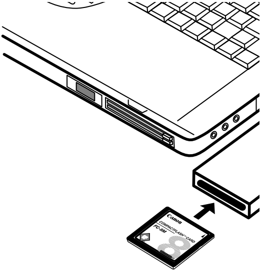
- **CFカードから直接画像を取り込む**
- **カメラとコンピューターをUSBケーブルで接続して画像を取り込む**

  あらかじめ同梱のソフトウェアをインストールしておけば、同梱のＵＳＢケーブルでカメラとコンピューターをつないだだけで、自動的に画像がダウンロードできます。

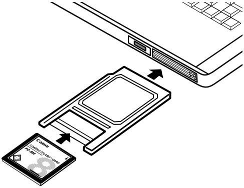
  *** 画像の取り込み方法、コンピューターに必要なシステム構成は、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。**

CFカードから直接画像を取り込む

1 **カメラからCFカードを取り出し、コンピューターに接続されたCFカードリーダーに入れます**



● PCカードリーダーをお使いの場合は、まずCFカードをPCカードアダプター(別売)に差し込んでから、PCカードリーダーに入れてください。



2 CFカードを接続したドライブをダブルクリックして開きます

3 撮影した画像をハードディスクの任意の場所にコピーします

● 画像は、CFカード内の[DCIM]フォルダの中の[xxxCANON]フォルダ(xxxは100～998の数字が入ります)にあります。

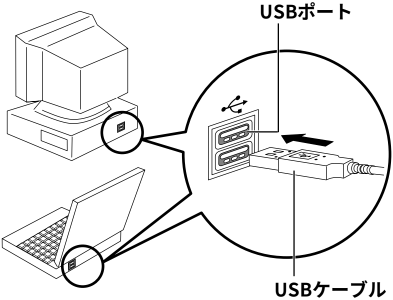
接続

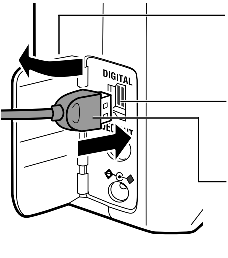
● CFカードやPCカードアダプターを入れるとき、コンピューターの電源を切るか、入れたままでよいかは、コンピューターやカードリーダーによって異なります。お使いの製品の取扱説明書でご確認ください。

カメラとコンピューターをUSBケーブルで接続する

1 同梱のUSBケーブルで、コンピューターのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続します

- USB接続の場合、カメラやコンピューターの電源を切る必要はありません。
- USBポートの位置は、お使いのコンピューターの取扱説明書で確認してください。

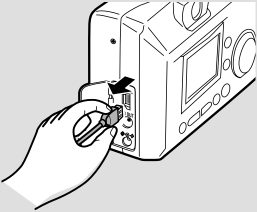




2 カメラのモードダイヤルを[▶]に合わせます

液晶モニターに再生画面が表示されます。
コンピューターへの接続が完了すると、液晶モニターは消え、緑色のインジケーターが点灯します。

カメラの**DIGITAL**端子からケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って、取り外してください。



- カメラをコンピューターに接続する場合、カメラの電源には別売の家庭用電源（ACアダプターキット ACK600）をお使いになることをおすすめします。→ p. 140
- カメラの電源が入っている状態でUSBケーブルを取り外すと、カメラの電源は切れます。
- コンピューターと接続しているときに、約5分間何も操作しないと、コンピューターの画面に警告メッセージが表示されます。さらに1分間何も操作しないとカメラの電源が切れます。その場合は、再度メインスイッチを押すと、電源が入ります。

- **この後の操作については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。**

Canon Image Gatewayを活用する

このカメラをお買い求めになられた皆さまには、オンラインフォトサービス「Canon Image Gateway」から、以下のサービスをご利用いただけます。サービスを利用するときは、まず会員登録（オンライン登録：無料）が必要です。登録方法については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

＊インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了）が必要です。

＊プロバイダとの接続料金およびプロバイダのアクセスポイントへの電話料金は別途かかります。

Canon Image Gatewayに接続してできること

●オンラインアルバムサービス



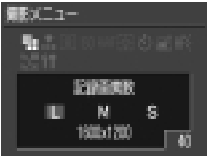
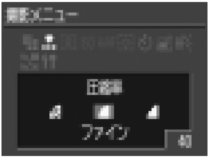
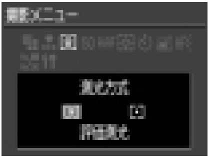
画像をCanon Image Gatewayにアップロードし、ネット上にオリジナルアルバムを作成できます。また、画像に付けたコメントや音声も同時にアップロードすることができますので、個性的なアルバムを作れます。
アップロードした画像を、多彩なレイアウト機能などを活用してアレンジすれば、自分だけのオリジナルアルバムを楽しめます。またアルバムは、知人（お友達やご家族）にも公開できますので、楽しみ方も倍増です。

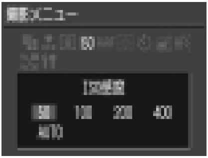
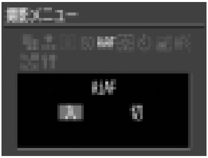
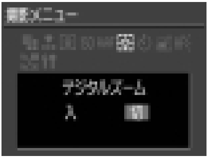
●オンラインプリントサービス

アルバムの画像を指定して、高画質なオンラインプリントサービスに、簡単にプリントを注文することができます。また、アルバムを見たお友達やご家族の人たちも注文することができます。

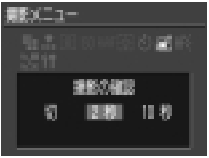
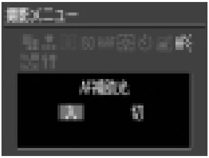
メニュー・メッセージ一覧

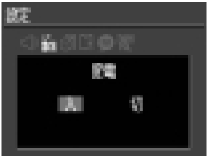
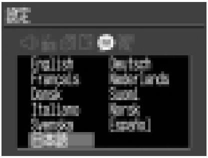
撮影メニュー

項目・画面	内容	参照先
記録画素数（静止画） 	撮影した画像をCFカードに記録するときの記録画素数を設定します。 ・**L**（ラージ）* A40：1600×1200画素 A30：1280×960画素 ・**M**（ミドル）　1024×768画素 ・**S**（スモール）　640×480画素	p. 50
記録画素数（動画） 	撮影した画像をCFカードに記録するときの記録画素数を設定します。 ・320（320×240画素）* ・160（160×120画素）	p. 50
圧縮率 	撮影した画像をCFカードに記録するときの圧縮率を設定します。 ・ スーパーファイン ・ ファイン* ・ ノーマル	p. 50
測光方式 	測光方式を設定します。 ・評価測光* ・スポット測光	p. 72

項目・画面	内容	参照先
ISO感度 	撮影感度を設定します。(初期設定はモードによって異なります。) ・50 ・100 ・200 ・400 ・AUTO	p. 77
AiAF 	AF枠をカメラが自動的に選択して撮影するか、あらかじめ中央のAF枠に決めて撮影するかを設定します。 ・入* ・切	p. 71
デジタルズーム 	光学ズームと合わせて拡大するかどうかを設定します。 ・入 ・切*	p. 57
セルフタイマー 	セルフタイマーの時間を設定します。 ・10秒* ・2秒	p. 60

付録

項目・画面	内容	参照先
撮影の確認 	撮影してシャッターボタンを離した後、撮影した画像を液晶モニターに表示する時間を設定します。 ・切 ・2秒* ・10秒	p. 48
AF補助光 	AF補助光のON/OFFを設定します。 ・入* ・切	p. 39
番号リセット機能 	ファイル番号の付け方を設定します。 ・入 ・切*	p. 78
設定... 電子音 	シャッターボタンを押したときや、メニュー操作をしたときに、電子音を鳴らすかどうかを設定します。 ・入* ・切	p. 38

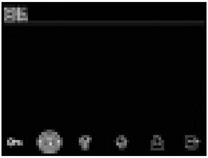
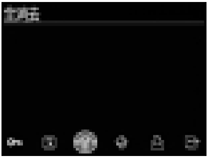
項目・画面	内容	参照先
設定... 節電機能 	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。 ・入* ・切	p. 29
設定... 日付設定 	日付、時刻、日付スタイルを設定します。	p. 24
設定... CFの初期化 	CFカードを初期化します。	p. 92
設定... 言語 	液晶モニターのメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。 English/Deutsch/Français/Nederlands/Dansk/Suomi/Italiano/Norsk/Svenska/Español/日本語*	p. 26

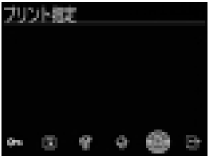
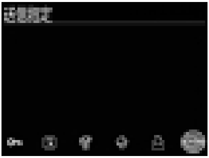
付録

項目・画面	内容	参照先
設定... ビデオ出力方式  	ビデオ出力方式を設定します。 ・NTSC* ・PAL	p. 117

* 初期設定

再生メニュー

項目・画面	内容	参照先
プロテクト 	消去できないようプロテクトを設定します。	p. 89
回転 	時計方向に90度、270度に回転して表示します。	p. 87
全消去 	CFカードに記録されている画像をすべて消去します。(プロテクトされている画像を除く)	p. 91
オートプレイ 	記録した画像を自動再生します。	p. 88

項目・画面	内容	参照先
プリント設定 	画像をダイレクトプリント対応プリンターまたはラボプリントサービスでプリントするとき、プリントする画像や枚数を指定します。	p. 106
送信設定 	お使いのメールソフトで送信する画像を、あらかじめカメラで指定します。	p. 114

すべての設定を初期状態に戻す

[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定をすべて初期設定に戻します。

1 カメラの電源を入れます

- モードダイヤルの位置はどこでも構いません。

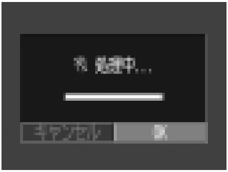
2 MENUボタンを5秒以上押しつづけます

液晶モニターに、「初期設定に戻しますか?」のメッセージが表示されます。



3 ◁/▷ボタンで[OK]を選び、SETボタンを押します

初期化中は下のような画面が表示され、初期化が終わると通常画面に戻ります。



- 初期設定に戻すのをやめるときは、[キャンセル]を選びます。

メッセージ一覧

液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。

処理中…	：撮影した画像をCFカードに記録しています。再生モードを起動中です。
CFカードがありません。	：CFカードがカメラに入っていないときに、撮影や再生をしようとしました。
記録できません。	：CFカードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。
CFカードが異常です。	：CFカードに異常があります。
CFカードがいっぱいです。	：CFカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上画像を記録できません。または、これ以上プリント指定を保存できません。
ファイル名が作成できません。	：カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでにファイル番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。撮影メニューで[番号のリセット機能]を[入]に設定してください。必要な画像をコンピューターに取り込んだ後、CFカードを初期化してください。なお、初期化すると、CFカード内の画像およびデータはすべて消去されます。
バッテリーを交換してください。	：電池の容量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに4本ともすべて新しい単3形アルカリ電池(p. 18)に交換するか、充電された充電池に交換してください。

画像がありません。	：	CFカードに画像が記録されていません。
画像が大きすぎます。	：	3200×2400画素より大きなサイズの画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。
互換性のないJPEGです。	：	互換性のないJPEGフォーマットの画像を再生しようとしました。
データが壊れています。	：	データが破壊されている画像を再生しようとしました。
RAW	：	RAW形式で記録された画像を再生しようとしました。
認識できない画像です。	：	動画や特殊なフォーマット（他社カメラ特有の記録フォーマットなど）で撮影した画像を再生しようとしました。
拡大できない画像です。	：	別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんコンピューターに取り込んで加工した画像を拡大しようとしました。
回転できません。	：	別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんコンピューターに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。
プロテクトされています。	：	プロテクトされている画像を消去しようとしました。
指定が多すぎます。	：	プリント指定、送信指定の画像が多すぎます。これ以上指定できません。
指定できない画像です。	：	JPEG以外のファイルをプリント指定しようとしました。

Exx	：カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

別売のカメラダイレクト対応プリンターでのプリント中に、カメラの液晶モニターに表示されるメッセージには、以下のものがあります。（プリンターによって、表示されないメッセージもあります。）

ペーパーがありません。	：ペーパーカセットが正しく入っていないか、ペーパーカセット内にペーパーがありません。
インクがありません。	：インクカセットが入っていません。またはインクカセットのインクがありません。
指定外のペーパーです。	：このカメラでプリントできないサイズのペーパーがプリンターに取り付けられました。
指定外のインクです。	：このカメラでプリントできない種類のインクカセットがプリンターに取り付けられました。
インクカセットが異常です。	：インクカセットに異常があります。
ペーパーとインクが不一致です。	：ペーパーとインクのサイズが異なります。
ペーパーが詰まりました。	：プリント中にペーパーが詰まりました。
ペーパーが変更されています。	：プリントスタイルメニュー表示時からプリントを開始するまでの間に、ペーパーのサイズが変わりました。
インクが変更されています。	：プリントスタイルメニュー表示時からプリントを開始するまでの間に、インクの種類が変わりました。
プリンターバッテリー切れです。	：プリンターの電池がありません。
通信エラー	：通信中にエラーが発生しました。
プリントできない画像です。	：別のカメラ、もしくは異なるフォーマットで撮影した画像、または、コンピューターに取り込んで加工した画像をプリントしようとしました。
プリントできない画像がXX枚ありました。	：別のカメラで撮影した画像、またはコンピューターに取り込んで加工した画像を××枚、DPOF設定でプリントしようとしました。

コイン電池を交換する

カメラの電源を入れたとき、日時/時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン電池（CR2016）をお求めのうえ、次の手順で交換してください。（最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入時の電池寿命が規定よりも短くなることがあります。）

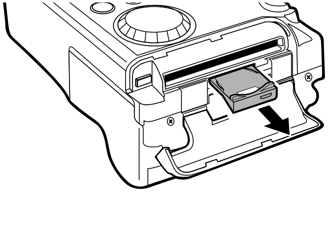
⚠

- **コイン型リチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の液で胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。**

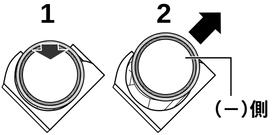
1 電源が切れていることを確認します

2 CFカードスロットカバーを開きます

3 コイン電池ホルダーを矢印の方向に取り出します



4 **コイン電池を1の矢印の方向に少しずらし、2の矢印の方向に引き抜くように取り出します**



5 **新しいコイン電池を、(－)側を上にして取り付けます**

6 **コイン電池ホルダーを元の位置に戻し、CFカードスロットカバーを閉じます**

7 **日付/時刻設定メニューが表示されたら、日付/時刻を設定します** → p. 24

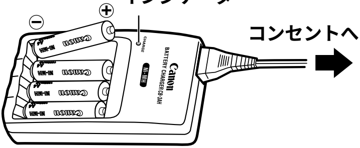


- カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付/時刻の設定画面が表示されますが、コイン電池を交換する必要はありません。

電源キット(別売)の使い方

充電式バッテリーを使う (バッテリー/チャージャーキット CBK100)

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のようにバッテリーを充電してください。



- 充電中はインジケーターが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。

●このバッテリーチャージャーでは、キヤノン単3形ニッケル水素電池以外の電池を充電しないでください。
●新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
●電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している4本を同時に充電してください。
●充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。
●電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。
●熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
●容量を使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。液晶モニターに「バッテリーを交換してください。」というメッセージが表示されるまで使い切ったあと、充電してください。
●以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
- 電池の使用可能時間が著しく短いとき
- 記録画像数が著しく少ないとき
- 電池を充電するとき(さらに、電池の取り付けと取り外しを2〜3回繰り返してから充電してください。)

- **電池の充電時間が数分程度で終了する(バッテリーチャージャーのインジケーターが点灯する)とき**

- **電池の特性により、お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。**
- **電極を拭いてからインジケーターが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン単3形ニッケル水素電池(4本セット)をご購入ください。**
- **電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。お使いにならないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。**

- 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、約220分です(当社測定基準による)。0〜35℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。

Ni-MH

・この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
・この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。
　製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
　(社)電池工業会 小型二次電池再資源化推進センター
　及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*

* (社)電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/
　電話番号　03-3434-0261

リサイクル時のご注意

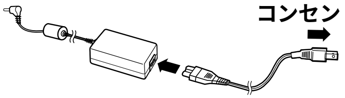
・電池を分解しないでください。

家庭用電源を使う（ACアダプターキット ACK600）

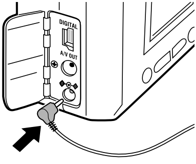
カメラを連続して長時間お使いになるときや、コンピューターと接続するときは、ACアダプターキット ACK600(別売)のご利用をおすすめします。

- **コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、カメラの電源を切ってから行ってください。**

1 コンパクトパワーアダプターに電源ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます



2 端子カバーを開き、コンパクトパワーアダプターのDCプラグをカメラのDC IN端子に接続します



- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- **ACアダプターキット ACK600以外の電源キットをお使いになると、カメラやACアダプターキットの故障の原因となることがあります。**

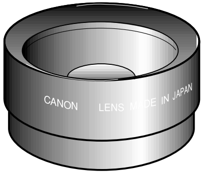
レンズ(別売)の使い方

別売のワイドコンバーター WC-DC52、テレコンバーター TC-DC52、クローズアップレンズ 250D(52mm)を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプター LA-DC52Bが必要です。

- **ワイドコンバーター/テレコンバーター/クローズアップレンズを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。**
- **ワイドコンバーター/テレコンバーター/クローズアップレンズは、絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。失明の恐れがあります。**

ワイドコンバーター WC-DC52

広角撮影するためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の約0.7倍になります。(ねじ径52mm)



付録

テレコンバーターTC-DC52

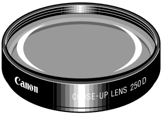
望遠撮影をするためのレンズで、焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の約2.4倍になります。（ねじ径 52mm）



- ワイドコンバーターやテレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。
- ストロボを使用すると、画像の周辺部(特に画面右下)が暗くなります。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け(ケラレ)て見えます。
- ワイドコンバーターはワイド端の位置でお使いください。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像がケラレることがあります。

クローズアップレンズ 250D(52mm)

簡単にマクロ撮影をするためのレンズです。マクロモードで、レンズ前面から被写体までが10cm(テレ端では13cm)~25cmの至近距離で撮影できます。



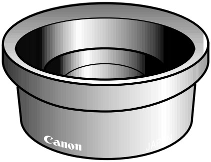
- **ストロボを使って撮影しないでください。**

撮影範囲(マクロモード時)について

	レンズ前面から被写体までの距離	撮影範囲
テレ端	13cm	48× 36mm
	25cm	82× 61mm
ワイド端	10cm	106× 80mm
	25cm	230×173mm

コンバージョンレンズアダプター LA-DC52B(52mm)

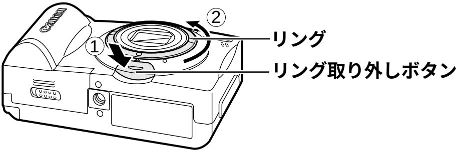
ワイドコンバーターやクローズアップレンズを取り付けるためのレンズアダプターです。



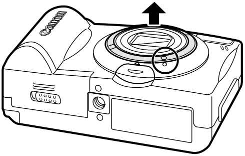
レンズを取り付ける

1 **電源が切れていることを確認します**

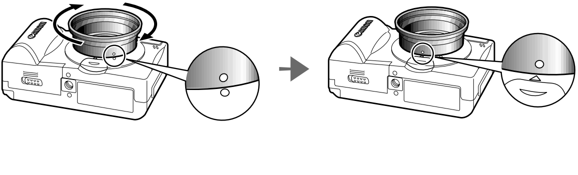
2 **リング取り外しボタンを押しながら、リングを矢印の方向に回します**



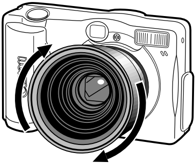
3 **カメラの●とリングの●が合ったら、リングを上に引き上げて外します**



4 **コンバージョンレンズアダプターの●をカメラの●印に合わせてから、▲印のところまで矢印の方向に回して取り付けます**



5 レンズを矢印の方向に回して確実に取り付けます



- ご使用前には、レンズ面のゴミをブロワーブラシなどで完全に取り除いてください。ゴミが付いていると、ゴミにピントが合ってしまいます。
- レンズには、指紋がつきやすいのでご注意ください。
- リングを外すときは、カメラやコンバージョンレンズアダプターを落とさないように注意してください。
- ファインダーを使用すると、ファインダー内の一部が欠け（ケラレ）て見えます。またファインダーでは、画角が確認できませんので、液晶モニターをお使いください。
- レンズを取り付けて□で撮影した画像は、コンピューターを使ってパノラマ画像合成ソフト「PhotoStitch」で正しく合成できません。

カメラのお手入れ

カメラやレンズ、ファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、次の方法でクリーニングしてください。

カメラ	：やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。
レンズ	：市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ったあと、やわらかい布で軽く拭き取ってください。 ● カメラやレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター(巻末の修理受付窓口をご覧ください)にご相談ください。
ファインダー	：市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。
液晶モニター	：市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。 ● 液晶モニターの表面を強くこすったり、押したりすると、表面にキズがつきますので、ご注意ください。

- **絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。**

故障かなと思ったら

現　　象	原　　因	対　　処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	●メインスイッチをしばらく押してください。
	バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーが開いています。	●バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。
	電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください。
	電池の電圧が足りません。	●未使用の電池、または十分に充電した電池に4本とも交換してください。 ●AC電源を使用してください。
	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池または、キヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。 (アルカリ電池について ➡p. 19)
	カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。
撮影ができない	モードダイヤルを ▶（再生）に合わせています。	●モードダイヤルを AUTO、P、M、□、🎥 にしてください。

付録

現　　象	原　　因	対　　処
撮影ができない	ストロボが充電中です。	●充電が完了すると、インジケーターが橙色に点灯しますので、シャッターボタンを押してください。
	CFカードの容量がありません。	●新しいCFカードを入れてください。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をコンピューターに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
	CFカードが正しくフォーマットされていません。	●CFカードを初期化してください。（CFカードを初期化する ➡ p. 92） ●CFカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
レンズが出たままで収納されない	メインスイッチを入れたまま、バッテリーカバーまたはCFカードスロットを開けようとしました。	●バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを閉じた後、メインスイッチを切ってください。
	CFカードへの記録中に、バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを開けようとしました。（警告音が鳴ります。）	●バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを閉じた後、メインスイッチを切ってください。

現　　象	原　　因	対　　処
電池の消耗が早い	不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池または、キヤノンの単3形ニッケル水素電池を入れてください。（アルカリ電池について ➡p. 19）
	周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。
	1年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	●フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
	充電池の寿命です。	●4本ともすべて新しい充電池と交換してください。
充電できない	電池が逆向きに入っています。	●電池を正しい方向で入れ直してください。
	充電池とバッテリーチャージャーの接触不良です。	●充電池をバッテリーチャージャーにしっかりとセットしてください。 ●電源ケーブルをバッテリーチャージャーのコネクターとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてから充電してください。

現　　象	原　　因	対　　処
充電できない	充電池の寿命です。	● 4本ともすべて新しい充電池と交換してください。
画像がぼやけている ピントがあまい	カメラが動いています。	● シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。
	AF補助光投光部が何かで覆われているため、オートフォーカスが機能していません。	● AF補助光投光部に、指などがかからないように注意してください。
	AF補助光投光の設定が[切]になっています。	● AF補助光投光の設定を[入]にしてください。 （➡ p. 126）
	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	● 被写体から76cm以上離してください。 ● 被写体から16～76cm（ワイド端）/26～76cm（テレ端）の距離で撮影するときは、マクロモードで撮影してください。 ● 遠くの被写体を撮影するときは、遠景モードで撮影してください。
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	● ストロボをオンにしてください。
	被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	● 露出補正値をプラス側に設定してください。またはスポット測光をお使いください。

現　　象	原　　因	対　　処
撮影した画像の被写体が暗すぎる	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から4.2m（ワイド端）/2.5m（テレ端）以内に近づけてください。
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎて、ストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から26cm以上離してください。
	被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	●露出補正値をマイナス側に設定してください。またはスポット測光をお使いください。
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
	ストロボがオンになっています。	●ストロボをオン以外にしてください。
ストロボが発光しない	ストロボがオフになっています。	●ストロボをオフ以外にしてください。
テレビに出力できない	お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	●正しいビデオ出力形式（NTSCまたはPAL）に合わせてください。
	モードダイヤルが（スティッチアシスト）になっています。	●モードダイヤルを以外にしてください。
ズームの操作ができない	動画撮影中にズームボタンを操作しました。	●動画を撮影する前にズームを操作してください。

付録

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot A40 / PowerShot A30		
カメラ部有効画素数	A40	約200万画素
	A30	約120万画素
撮像素子	A40	1/2.7型CCD (総画素数 約210万画素)
	A30	1/2.7型CCD (総画素数 約130万画素)
レンズ		5.4(W)-16.2(T)mm 、F2.8(W)-4.8(T) (35mmフィルム換算 35(W)-105(T)mm)
デジタルズーム	A40	最大2.5倍 (光学ズームと合わせて最大7.5倍のズームが可能)
	A30	最大2.0倍 (光学ズームと合わせて最大6倍のズームが可能)
光学ファインダー		1次結像式実像光学ズームファインダー
液晶モニター		1.5型低温ポリシリコンTFT LCD 約12万画素
オートフォーカス		TTL 3点 AiAF / TTL 中央1点 AF フォーカスロック可能
撮影距離		通常撮影時：76cm〜∞ マクロ撮影時：16(W)/26(T)〜76cm
シャッター		メカニカルシャッター + 電子シャッター
シャッター速度		15〜1/1500秒 ・15〜1.3秒はマニュアルモードの[ストロボオフ]、または[スローシンクロ]時 ・1.3秒を超えてからノイズリダクション処理あり
測光方式		評価測光(測距点に連動)/ スポット測光
露出制御方式		プログラムAE(オート、プログラムモード時)
露出補正		±2段(1/3段ステップ)
感度		ISO 50 / 100 / 200 / 400 相当 / オート (オート時は、ISO 50〜150 相当の間で自動設定)

ホワイトバランス	: ＴＴＬ オートホワイトバランス / プリセットホワイトバランス(太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H)
ストロボ	: オート / 赤目緩和オート / オン / オフ / 赤目緩和オン / スローシンクロ
ストロボ連動範囲	: 通常撮影 ：76cm〜4.2m(W) / 76cm〜2.5m(T) : マクロ撮影：26〜76cm(W/T)
撮影モード	: オート / プログラム / マニュアル / スティッチアシスト / 動画
連続撮影	: 約2.5画像/秒 (ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示のとき)
セルフタイマー	: 約2秒、約10秒後に撮影
パソコン接続撮影	: USB接続時、RemoteCapture(同梱のソフトウェア)で撮影可能
記録媒体	: コンパクトフラッシュカード (Type I)
画像ファイルフォーマット	: DCF(注1)、DPOF対応
画像記録フォーマット	(静止画) : JPEG (Exif 2.2)(注2) (動画) : AVI (画像データ : Motion JPEG / 音声データ : WAVE(モノラル、A40のみ))
圧縮率	: スーパーファイン/ファイン/ノーマル
記録画素数	(静止画) : ラージ (A40) : 1600 × 1200画素 (A30) : 1280 × 960画素 ミドル : 1024 × 768画素 スモール : 640 × 480画素 (動画) : 320 × 240画素(約10秒)(注3) 160 × 120画素(約30秒)(注3) 約20秒フレーム/秒 注3：( )内は、1回の最長記録時間です。
再生モード	: シングル再生 インデックス再生(サムネイル9画像) / 拡大再生(液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能)/ オートプレイ/専用プリンター(CP-100、CP-10)への画像出力(ダイレクトプリント)

表示言語	:	English / Deutsch / Français / Nederlands / Dansk / Suomi / Italiano / Norsk / Svenska / Español / 日本語
Canon Image Gateway 対応機能	:	同梱のソフトウェアを使って、CIGの会員登録、CIGへの画像のアップロード
インターフェース A40	:	USB(mini-B) 映像 / 音声出力端子(NTSCまたはPAL切換可能、モノラル音声)
A30	:	USB(mini-B) 映像出力端子(NTSCまたはPAL切換可能)
電源	:	単3形アルカリ電池(同梱) 充電式ニッケル水素電池(別売) 専用コンパクトパワーアダプター CA-PS500(別売)
動作温度	:	0〜40℃
動作湿度	:	10〜90%
大きさ(幅×高×奥)	:	110.3×71.0×37.6mm(突起部を除く)
質量	:	約250g(本体のみ)

(W):ワイド端 (T):テレ端

注1:DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を関連機器で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

注2:このデジタルカメラは、Exif 2.2(愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニターON	液晶モニターOFF	
単3形アルカリ電池（同梱品）	約200画像	約500画像	約240分
単3形ニッケル水素電池（NB-1AH）	約350画像	約1000画像	約240分

＜測定条件＞

撮影： 常温（23℃）、20秒間隔でワイド端とテレ端撮影を交互に繰り返し、4回に1回ストロボ使用、8回に1回電源をOFF/ON操作

再生： 常温（23℃）、1画像あたり3秒間隔で連続再生

- **電池の取り扱いについて** **→ p. 19, 138**

CFカードの種類と記録画像数の目安

PowerShot A40

		FC-8M	FC-16M	FC-32M	FC-64M	FC-128M
L	S	7	15	31	64	128
		11	24	49	100	200
		24	48	99	200	401
M	S	16	32	67	135	271
		24	49	102	205	412
		46	92	189	379	760
S	S	35	70	143	288	577
		50	99	206	415	831
		87	172	353	707	1417
動画	320	18秒	36秒	75秒	152秒	305秒
	160	48秒	97秒	198秒	399秒	799秒

PowerShot A30

		FC-8M	FC-16M	FC-32M	FC-64M	FC-128M
L	S	10	21	43	88	177
		16	32	67	135	271
		32	64	131	263	528
M	S	16	32	67	135	271
		24	49	102	205	412
		46	92	189	379	760
S	S	35	70	143	288	577
		50	99	206	415	831
		87	172	353	707	1417
動画	320	18秒	36秒	75秒	152秒	305秒
	160	48秒	97秒	198秒	399秒	799秒

- (スーパーファイン)、(ファイン)、(ノーマル)は、圧縮率を表します。
- **L**(ラージ)、**M**(ミドル)、**S**(スモール)、320、160は、以下の記録画素数を表します。

	PowerShot A40	PowerShot A30
L(ラージ)	1600×1200画素	1280×960画素
M(ミドル)	1024×768画素	1024×768画素
S(スモール)	640×480画素	640×480画素
320	320×240画素	320×240画素
160	160×120画素	160×120画素

1画像の容量(目安)

PowerShot A40

L (1600 ×1200)	957KB	611KB	302KB
M (1024 × 768)	450KB	294KB	155KB
S (640 × 480)	208KB	141KB	79KB

PowerShot A30

L (1280 × 960)	693KB	450KB	228KB
M (1024 × 768)	450KB	294KB	155KB
S (640 × 480)	208KB	141KB	79KB

ニッケル水素電池 NB-1AH

（別売のニッケル水素電池 NB4-100 またはバッテリー/チャージャーキット CBK100 に同梱）

形式	充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	1600mAh（最小：1550mAh）
充放電回数	約300回（目安）
使用温度	0～35℃
大きさ	直径：14.5mm 長さ：50mm
質量	約27g

バッテリーチャージャー CB-3AH

（別売のバッテリー/チャージャーキット CBK100 に同梱）

定格入力	AC100～240V（50/60Hz）/14VA
定格出力	DC1.6V/2A
充電時間	約220分*
使用温度	0～35℃
大きさ	113X74X27.5mm
質量（本体のみ）	約100g

*NB-1AH 4本の充電時間

コンパクトパワーアダプター CA-PS500

（別売のACアダプターキット ACK600 に同梱）

定格入力	AC100～240V（50/60Hz）/16VA（100V）～26VA（240V）
定格出力	DC4.3V/1.5A
使用温度	0～40℃
大きさ	42.5X104.4X31.4mm
質量（本体のみ）	約180g

コンパクトフラッシュカード

カードスロットタイプ	Type I
大きさ	36.4X42.8X3.3mm
質量	約10g

ワイドコンバーター WC-DC52(別売)

倍率	約0.7倍 (35mmフィルム換算で24.5mm相当＜ワイド端＞)
撮影距離(レンズ先端より)	約6cm〜∞(ワイド端:PowerShot A40/A30装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A40/A30に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52が必要)
大きさ	直径: 58mm 長さ: 30.5mm
質量	約74g

テレコンバーター TC-DC52(別売)

倍率	約2.4倍 (35mmフィルム換算で252mm相当＜テレ端＞)
撮影距離(レンズ先端より)	約20cm〜∞(ワイド端:PowerShot A40/A30装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A40/A30に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52が必要)
大きさ	直径: 67mm 長さ: 57mm
質量	約74g

クローズアップレンズ 250D 52mm(別売)

焦点距離	250mm
撮影距離(レンズ先端より)	10〜25cm(W)/13〜25cm(T)(PowerShot A40/A30装着時)
ねじ径	52mm標準フィルターネジ(PowerShot A40/A30に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52が必要)
大きさ	直径: 54mm 長さ: 10.2mm
質量	約55g

コンバージョンレンズアダプター LA-DC52B(別売)

ねじ径	52mm標準フィルターネジ
大きさ	直径: 55.7mm 長さ: 23mm
質量(本体のみ)	約13g

索引

数字・アルファベット

ア 行

カ 行

サ 行

タ 行

ハ 行

マ 行

ラ 行

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。

お客様ご相談窓口

サービスセンター

●北海道地区●

※札幌サービスセンター　TEL 011-728-0665
〒060-8522　札幌市北区北７条西1-1-2（SE山京ビル１Ｆ）

●東北地区●

※仙台サービスセンター　TEL 022-217-3210
〒980-8560　仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル１Ｆ）

●関東・信越地区●

※新潟サービスセンター　TEL 025-246-8765
〒950-0914　新潟市紫竹山1-10-26

※大宮サービスセンター　TEL 048-649-1450
〒331-0852　さいたま市桜木町4-247（OSビル１Ｆ）

●東京・神奈川・山梨地区●

東京ＱＲセンター　TEL 03-3837-2961
〒110-0005　東京都台東区上野1-1-12（信井ビル１Ｆ）

銀座サービスセンター　TEL 03-3573-7834
〒104-0061　東京都中央区銀座5-9-9

新宿サービスセンター　TEL 03-3348-4725
〒163-0401　東京都新宿区西新宿2-1-1（三井ビル１Ｆ）

※横浜サービスセンター　TEL 045-312-0211
〒220-0004　横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル２Ｆ）

●中部・北陸地区●

※静岡サービスセンター　TEL 054-253-9010
〒420-0034　静岡市常磐町2-6-8（トーカイビル３Ｆ）

※名古屋サービスセンター　TEL 052-939-1830
〒461-8511　名古屋市東区東桜2-2-1（高岳パークビル１Ｆ）

※金沢サービスセンター　TEL 076-233-6608
〒920-0853　石川県金沢市本町1-5-2（リファーレ１Ｆ）

●近畿地区●

※京都サービスセンター　TEL 075-255-5953
〒604-0847　京都市中京区烏丸通２条下ル 秋野々町513番地
（京都第一生命泉屋ビル２Ｆ）

梅田カメラサービスセンター　　　TEL 06-4795-9100
〒530-8260　大阪市北区梅田 3-3-10（梅田ダイビルＢ１）
※森ノ宮サービスセンター　　　TEL 06-6942-7418
〒540-0003　大阪市中央区森ノ宮中央 2-5-3

●中国・四国地区●

※岡山サービスセンター　　　TEL 086-221-8678
〒700-0907　岡山市下石井 2-2-5（ニッセイ岡山スクエア 13 F）
※広島サービスセンター　　　TEL 082-240-6712
〒730-0051　広島市中区大手町 3-7-5（広島パークビル１F）
※高松サービスセンター　　　TEL 087-823-4681
〒760-0027　高松市紺屋町 4-10（鹿島紺屋町ビル１F）

●九州地区●

※福岡サービスセンター　　　TEL 092-411-4173
〒812-0017　福岡市博多区美野島 1-2-1
（キヤノン販売福岡ビル１F）

技術センター

※ＤＣ技術センター　　　TEL 044-811-1670
〒213-0032　川崎市高津区久地 487-1
※大阪カメラ技術センター　　　TEL 06-6941-1076
〒540-0003　大阪市中央区森ノ宮中央 2-5-3

※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

◎修理サービスご相談窓口の営業時間

東京ＱＲ：10:00～18:00（日・祝日は休ませていただきます）
銀　座　：10:00～18:00（土・日・祝日は休ませていただきます）
新　宿　：10:00～18:00（日・祝日は休ませていただきます）
梅　田　：10:00～18:00（日・祝日は休ませていただきます）
その他　：　9:00～17:30（土・日・祝日は休ませていただきます）

●2002年2月1日現在　上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後７年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

本デジタルカメラは、キヤノン純正のデジタルカメラ用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。他社製のアクセサリーを組み合わせてお使いになられたことが原因で生じた事故や故障については、弊社では保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

Ni-MH ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

Canon
キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011　東京都港区三田3-12-15　東急三田ビル

製品取り扱い方法、および修理に関するご相談窓口

製品名	お問い合わせ
PowerShot A40 PowerShot A30	キヤノン販売お客様相談センター （全国共通番号）**0570-01-9000** 受付時間：平日 9:00～20:00 土・日・祝日 10:00～17:00 （1月1日～1月3日を除く） お電話がつながりましたら音声ガイダンスに従ってデジタルカメラの該当番号＜71＞をお話しください。 音声認識後、商品担当者におつなぎします。 全国64ヵ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。 なお、携帯電話・PHSをご使用の方は、043-211-9556をご利用ください。 ※ 音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。 ※ 電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。 その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。 ※ 消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売（株）販売窓口にてご購入ください。 なお、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
http://www.canon.co.jp/Imaging/

キヤノン販売株式会社　デジタルカメラ製品情報
http://www.canon-sales.co.jp/camera/digital/

キヤノン販売株式会社　サービス＆サポート
http://www.canon-sales.co.jp/e-support/index-j.html

Canon Image Gateway
http://www.imagegateway.net

CDI-J028-010　XXXXXXXX